

MUFGの「お客さま本位の取り組み」

当資料では、主に安定的な資産形成を図る個人のお客さま向けに、MUFGグループ各社の2024年度の取組状況、2025年度のアクションプランを、具体的な指標(KPI)・取組事例とあわせて取り纏めております。

基本方針

- MUFGは、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、「お客さまに対する姿勢」を「行動規範」の第1章に掲げ、お客さま視点の徹底を図るとともに、グループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」を策定・公表しています。
- 本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、その取組状況を定期的に公表するとともに、MUFGもその取組みをモニタリングし、本方針を定期的に見直します。

運営方針

- MUFGはフィデューシャリー・デューティー推進委員会(以下、FD推進委員会)等を定期的に開催し、お客さま本位の業務運営態勢のさらなる強化や、ベスト・プラクティスの共有を含めたグループ体での業務推進を行っており、その内容はグループ経営会議等に定期報告されています。
- FD推進委員会には外部有識者をアドバイザーとして招聘し、社外視点からの提言・助言を得るとともに、お客さま本位の業務運営に係る活動内容全体については、社内コンプライアンス部門や監査部門による検証・評価もされており、様々な観点からの議論を行っています。
- また、持株組織である資産運用戦略室では、グループを横断した情報共有を行い、集約した情報から得られる示唆を各グループ会社へ展開することでさらなるガバナンス強化をめざして取り組んでいます。

MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針

【補充原則1・2・5】

P 1-31

行動規範 1-1	1. お客さま本位の徹底	【原則2】 ¹		P 3-5
誠実な行動	2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供	【原則6】	【補充原則3・4】	P 6-7、29-30
	3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践	【原則4~7】		P 8-16
行動規範 1-2	4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備	【原則3・6】	【補充原則3・4】	P 17-20、29-30
品質の追求	5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化	【原則3・6】		P 21-22
	6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上	【原則2・6】		P 23
行動規範 1-3	7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供	【原則2】		P 24-25
期待を超えるサービスの提供	8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備	【原則6】		P 26
	9. プロフェッショナルリズムの発揮	【原則2】		P 27
共通KPI				P 32-55

1 (注) 1. 【原則】、【補充原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2024年9月改訂)との対応を示しております

MUFGのグループ各社

- 2024年度 of 取組状況、2025年度 of アクションプランおよび具体的な指標(KPI)を策定・公表しているグループ各社は、以下の通りです。

グループ各社の担う主な機能・役割		
販売	商品開発・運用	資産管理
三菱UFJ銀行 (銀行)		
三菱UFJ信託銀行 (信託)		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (証券)		
三菱UFJ eスマート証券 (eスマ)		
	三菱UFJアセットマネジメント (MUAM)	
	三菱UFJ不動産投資顧問 (MUREAM)	
	三菱UFJオルタナティブインベストメンツ (MUAIts)	
		日本マスタートラスト信託銀行 (MTBJ)

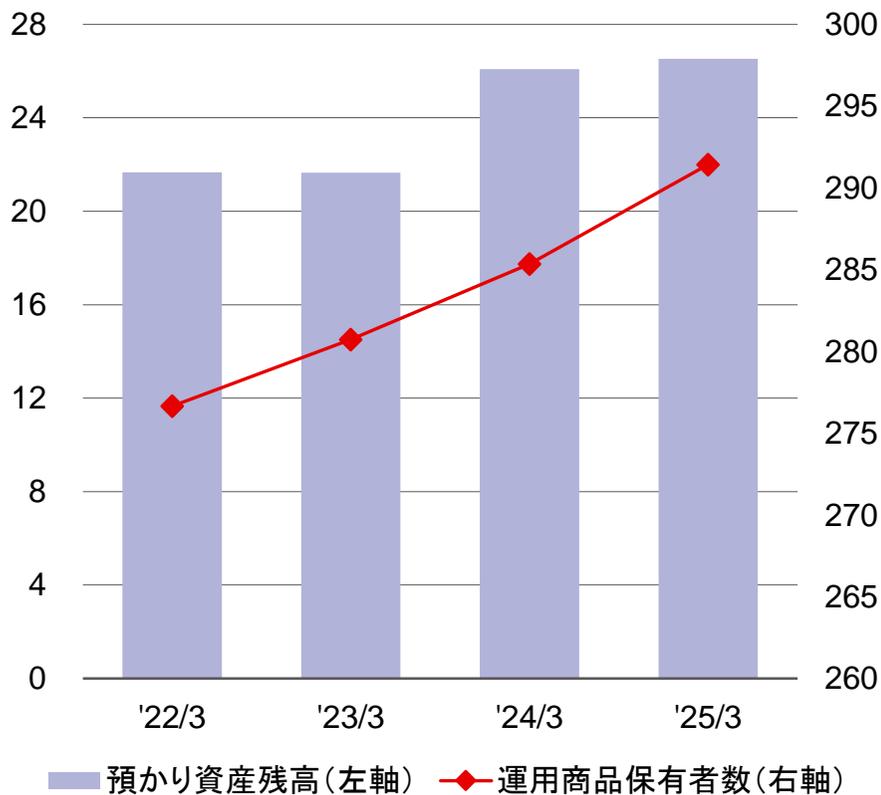
()は当資料におけるグループ各社の略称

1. お客さま本位の徹底

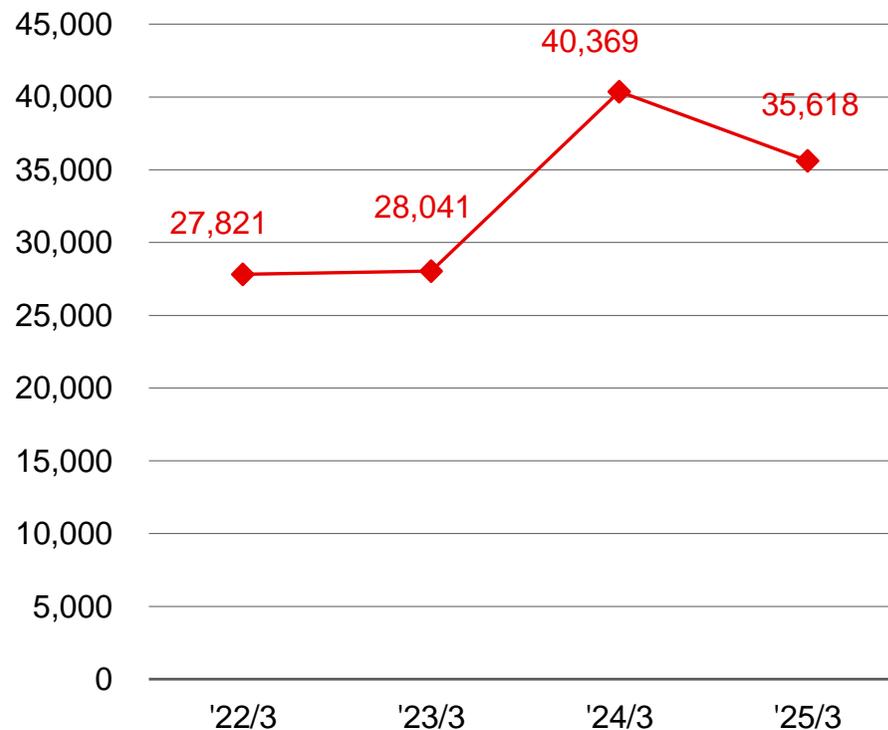
(1) 社会的責任の重さを一人ひとりが十分に認識し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さま本位の業務を徹底してまいります。【原則2】

■ 預かり資産残高は、足元の市況の変化による時価要因の影響もあり、増加いたしました。引き続き、中長期・資産分散型の提案を中心とした取り組みなどにより、お客さま本位の業務を徹底してまいります。

預かり資産残高(兆円)、運用商品保有者数(万人)² MUFG³



<ご参考> 日経平均株価終値推移(円)

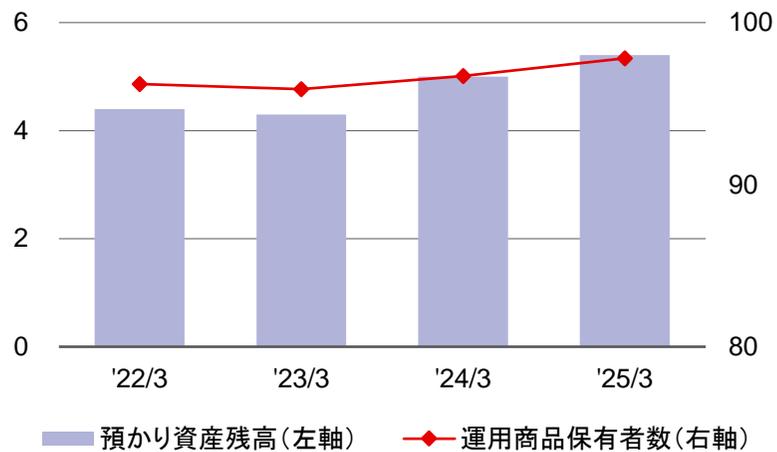


(注) 2. 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース(三菱UFJ銀行は、2025年度に定義変更有り。2022年3月実績より遡って金融商品仲介・ファンドラップを除外)
3. 対象範囲は、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJ e スマート証券

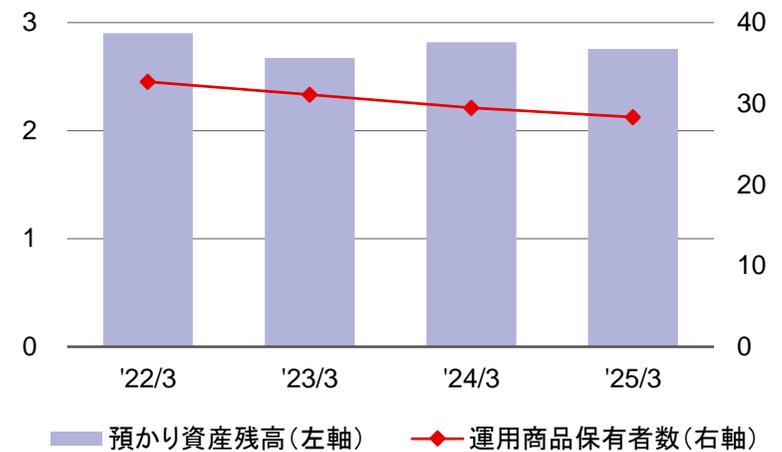
1. お客さま本位の徹底

預かり資産残高(兆円)、運用商品保有者数(万人)⁴

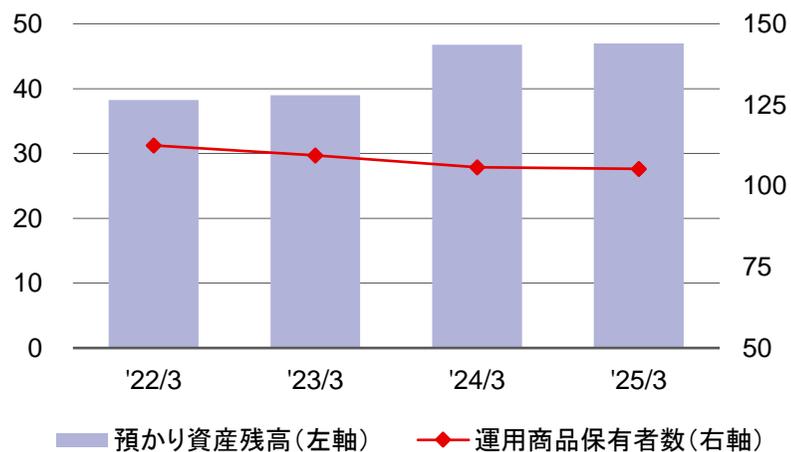
銀行



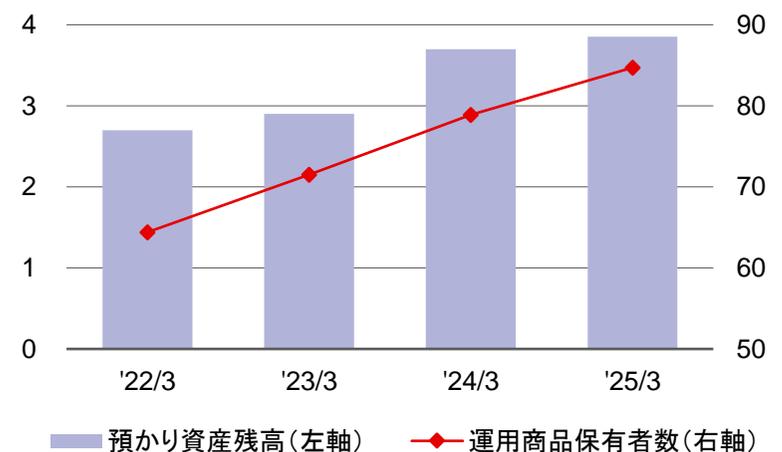
信託



証券



eスマ

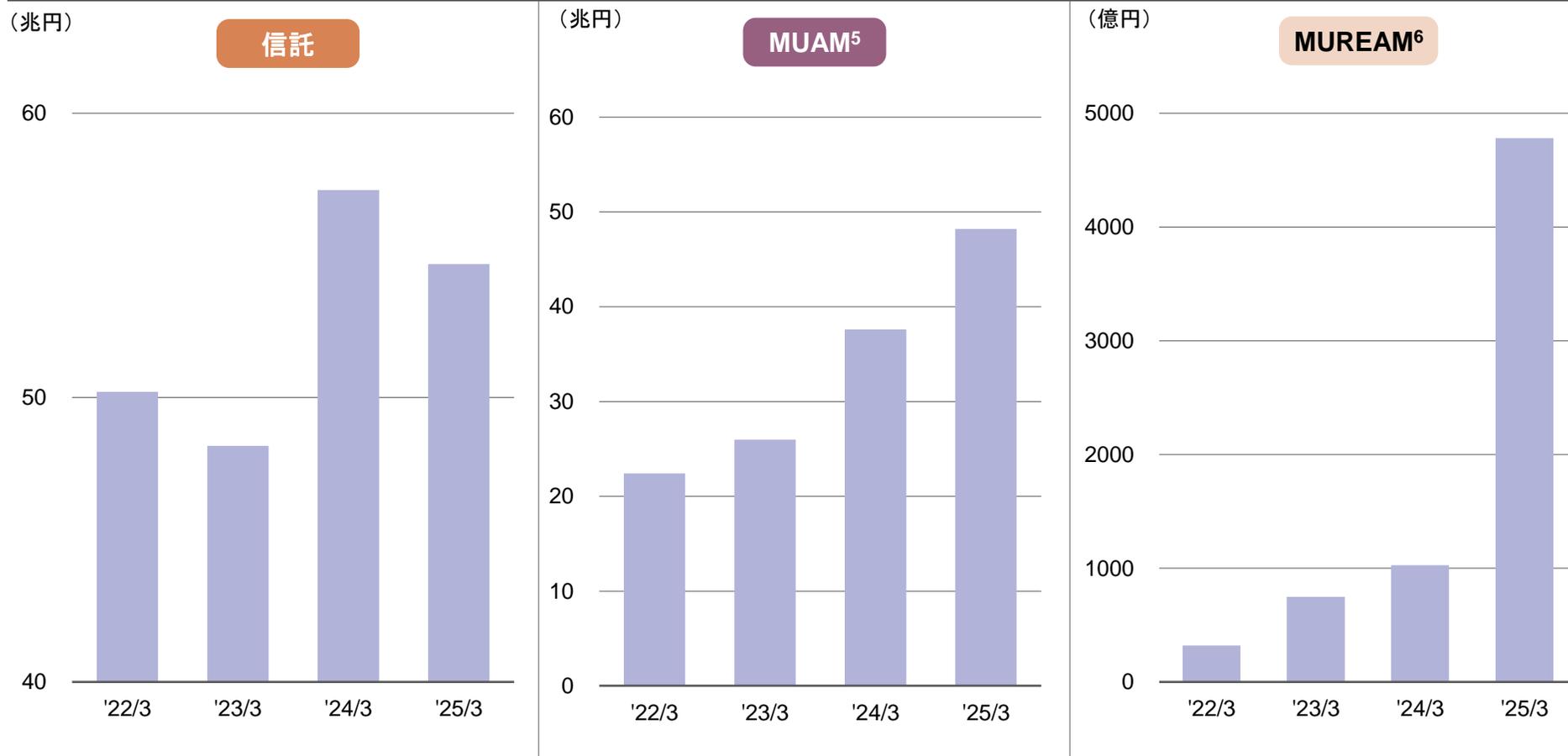


4 (注)4. 銀行・信託: 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース(銀行は、2025年度に定義変更有り。2022年3月実績より遡って金融商品仲介・ファンドラップを除外)
証券・eスマ: 個人・法人のお客さまの取引実績、管理会計ベース(金融商品仲介口座含む)

1. お客さま本位の徹底

- 信託および三菱UFJ不動産投資顧問(MUREAM)では、年金基金・金融法人・事業法人などのお客さまの中長期的な投資ニーズに応える商品を、三菱UFJアセットマネジメント(MUAM)では、主に個人のお客さまの資産形成に貢献する商品を開発・提供し、お預かりした資産の運用により、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指しています。
- お客さまからお預かりした運用資産は、受託者責任の下、専ら受益者の皆さまの最善の利益の実現のために忠実に運用・管理し、中長期的な資産の成長に努めてまいります。

運用資産残高



5 (注) 5. 投資信託残高、投資顧問契約残高および投資一任契約残高(2023年10月にMUREAMからMUAMへ移管)の合計
6. 不動産運用残高(業務委託分含む)の合計

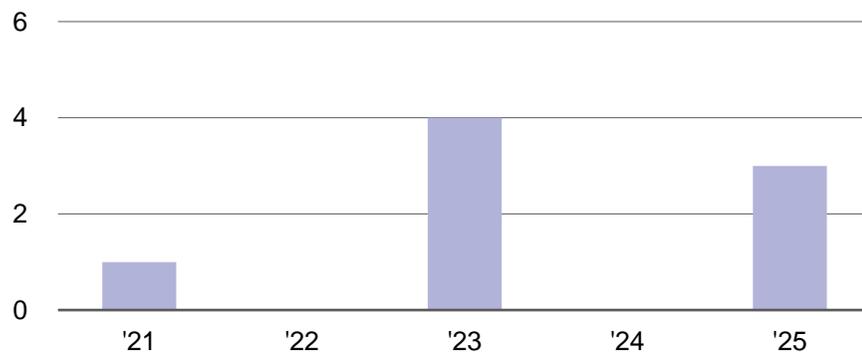
2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

(1) 常にお客様本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客様のニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 自社の運用ノウハウを駆使するほか、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用し、お客様の投資目的やリスク許容度を踏まえ、良質な商品を開発・提供しています。
- また、販売者には想定顧客の情報を提供し、お客様の最善の利益の実現のため販売活動をサポートしています。

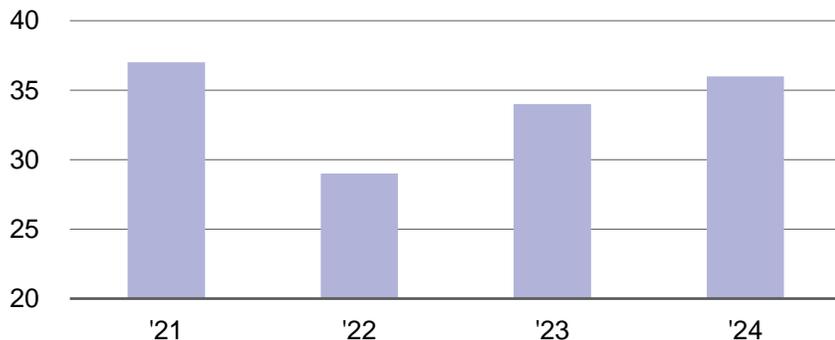
R&I ファンド大賞受賞本数(本)⁷

信託



ファンドアワード受賞本数(本)⁸

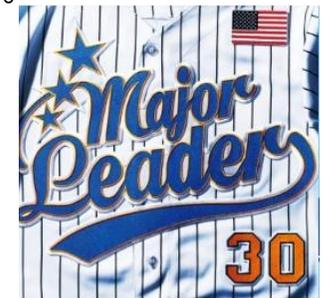
MUAM



<ご参考>

MUAM「次世代米国代表株ファンド(愛称:メジャー・リーダー)」

- 当ファンドは、良好なパフォーマンスが評価され、“R&I ファンド大賞 2025”にて過去10年のパフォーマンスを評価する「北米株式コア」部門の最優秀ファンド賞を、前年に続き2年連続で受賞いたしました。
- 当ファンド(2013年5月設定)は、主として米国において取引される、持続的に成長が見込まれる、次世代の米国経済の主演となり得ると判断した企業への厳選投資を通じて、値上がり益の獲得をめざします。
- 運用を担当しているチームでは、持続的に成長が期待される企業を発掘し、直接取材などの徹底した調査・チームでの議論を通じた銘柄選択を行います。短期的な業績のブレや市況の変動に振られることなく、企業の業績が時間をかけて株価に反映されていく局面を捉える運用を実践しています。
- なお、当ファンドはNISA(少額投資非課税制度)における「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ファンドです。



(注) 7. 2022年6月公表-2025年6月公表までの数値

8. ファンドアワード受賞本数は、R&Iファンド大賞(R&I)、LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン(LSEG)、モーニングスター・アワード(モーニングスター・ジャパン)、個人投資家が選ぶ!Fund of the Year(投信ブロガーによる運営委員会)の受賞合計

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの知識・経験・財産の状況およびお取引の目的に照らし、適切な商品をご提案するとともに、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。【原則6】

- 商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況や目的に照らして商品を選定しています。特にご高齢のお客さまや投資の知識・経験が十分では無いお客さまへはリスクを抑えた商品をご提案する等、お客さまのライフステージや属性を踏まえ、各種シミュレーションツールを用いて、お客さまの課題解決に資するゴールベースでのご提案を行い、お客さまニーズに沿った商品をご提案してまいります。

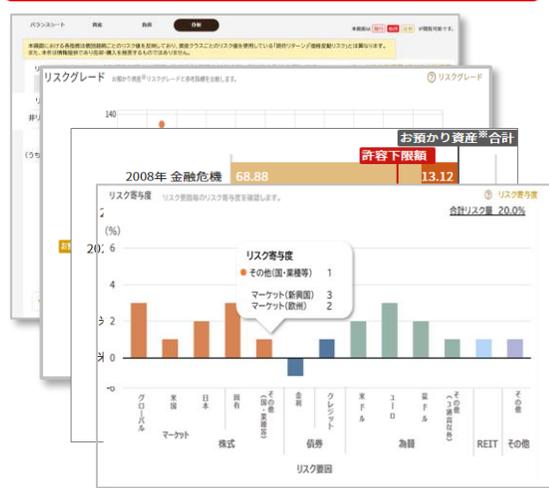
＜ご参考＞シミュレーションツール

- MUFGでは、様々なポートフォリオ分析ツールを用い、お客さまのニーズやリスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。
- 2022年2月にリリースしたMUFGウェルスマネジメントデジタルプラットフォーム（以下WMPF）のゴールプランニングシステムでは、お客さまが保有する運用資産をリスクリターンの状況も含めて可視化することで、お客さまの現状把握を促し、よりお客さまのご意向や目的に沿ったご提案となるよう努めております。
- また、2023年7月には、シナリオテスト等、4つの切り口でお客さまの資産に潜在する様々なリスクを可視化する「リスク分析機能」をリリースいたしました。

MUFGゴールプランニングシステム



リスク分析機能



＜ご参考＞ハウスビュー*

- MUFGのウェルスマネジメントでは、「Global Macro & Asset allocation Perspectives (GMAP)」をハウスビューとして位置づけ、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJ銀行で活用しています。2023年5月、既存のレポートに加え、タイムリーな情報提供の観点から、「GMAP 月次アップデート」「GMAP スポット」「GMAP 不定期レポート」を新たにリリース。お客さまの投資判断に必要な情報発信を拡充しております。
- 三菱UFJ信託銀行では、年金運用専門部署の知見を集約した信託のハウスビューである「投資環境見通し」を活用し、信託銀行のビジネス特性を活かしたアドバイスを行っております。



*「ハウスビュー」とは、資産運用における組織としての公式な「投資見解」を指します

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

<ご参考> シミュレーションツール

- MUFG資産運用における提案プロセスは”PPAR (Profiling Plan Action Review)”として体系化。WMPFをはじめとした各種システム・テクノロジーを活用し、総資産ベースのゴールベースアプローチで包括的なソリューション提案を実施しております。
- なお、MUFGで利用するグループ共通プラットフォームである「WMPF」及び、当行が提供する包括的な資産管理ツールのWebサービス「Wealth Canvas」は 2023年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

アドバイスモデル



WMPF・Wealth Canvas

GOOD DESIGN AWARD 2023



MUGF 三菱UFJ銀行

MUGF Wealth Management

資産形成総合サポートサービス「Money Canvas」

- お客さまの多様な資産形成ニーズにお応えすべく、オープンなプラットフォームとして、豊富な金融コンテンツや、MUFG Gr内外の商品情報を提供しております。
- 23年12月にはアプリをリリースし、家計管理から資産形成まで一気に通貫でサポートできるようになりました。
- さらに、資産形成の裾野拡大に向け、個人との接点が豊富な企業と協業し、サービスへ組み込むことで、より多くのお客さまの「貯蓄から投資へ」を後押ししてまいります。



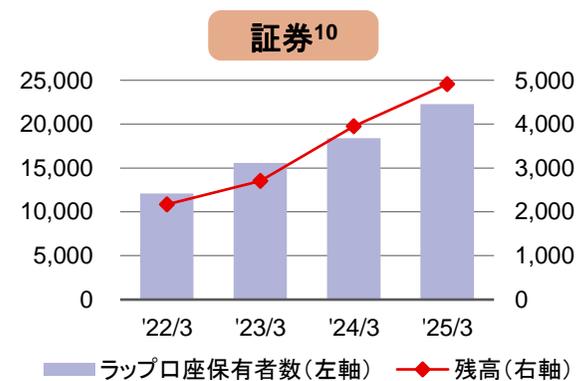
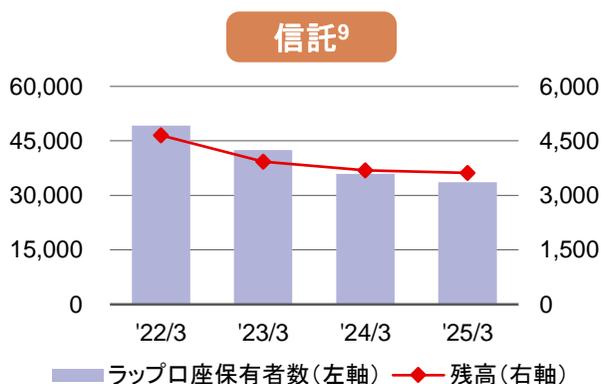
3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

- 安定的な運用成果をご享受いただくため、お客さまの運用スタンスに応じた効率的な資産配分を意識して、コンサルティングを通じたポートフォリオ提案を行っております。
- 時間分散・長期保有の観点では投信つみたて(NISA含む)をご提案しております。

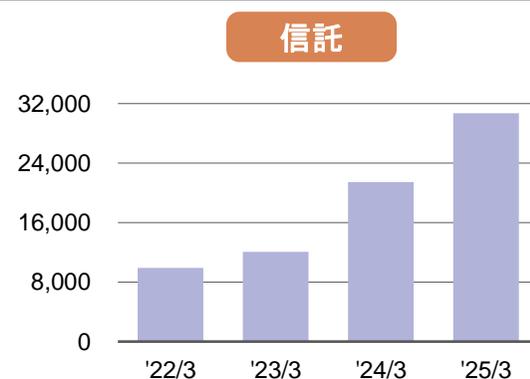
投信つみたて振替額(億円)



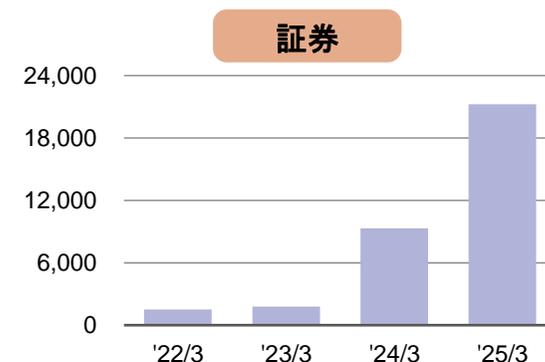
ラップ口座保有者数(人)・残高(億円)⁹



投信つみたて(NISA含む)保有者数(人)



投信つみたて保有者数(人)¹¹



(注) 9. 資産運用口座(プライベートアカウント等)とMUFGファンドラップの合計(含む銀行)

10. 個人口座のみ、対象はGRAN GOAL・Mirai Value0

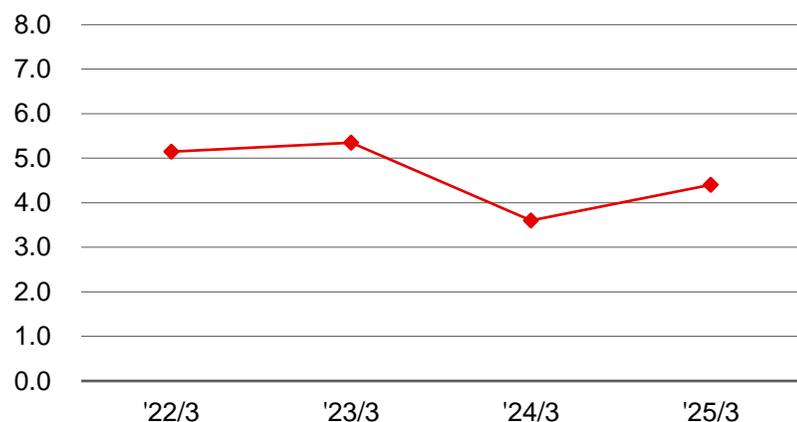
11. 買付が行われた口座数

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

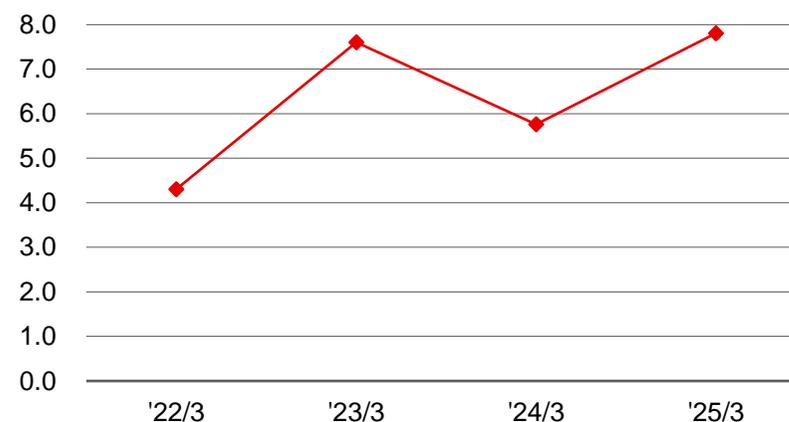
■ 平均保有期間は、中長期保有に資するご提案に努めた結果、長期化傾向となっております。

投資信託の平均保有期間(年)¹²

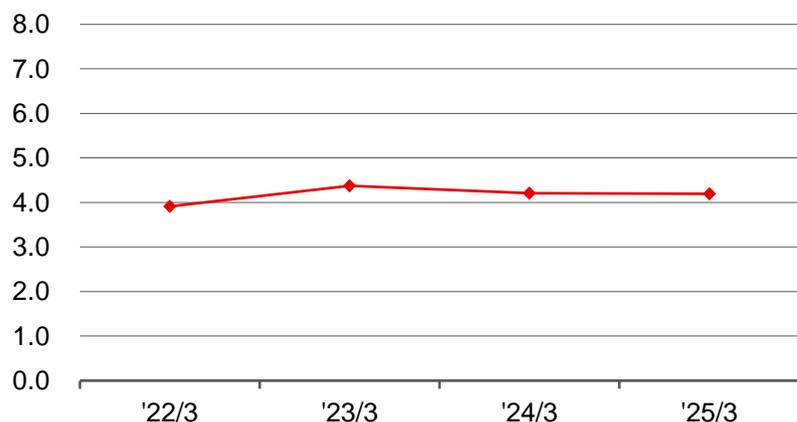
銀行



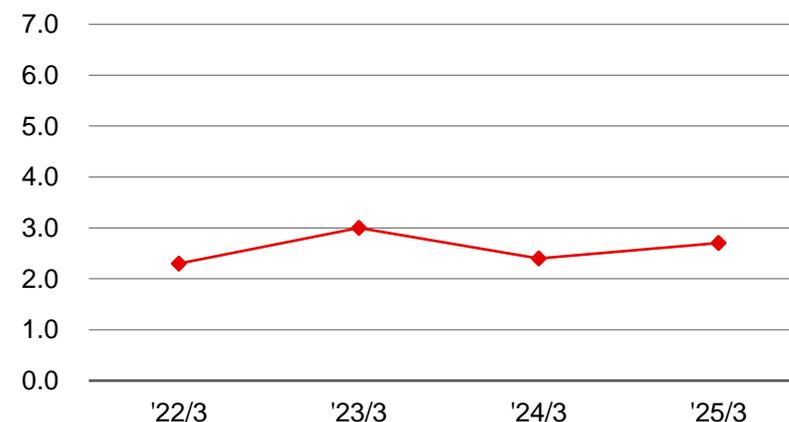
信託



証券



eスマ



11 (注) 12. 投信平均保有残高(ファンドラップ合算)を解約・償還額の累計(ファンドラップ合算)で除したもの(それぞれ過去1年間)。なお、証券は、2015年6月以降のデータで算出

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

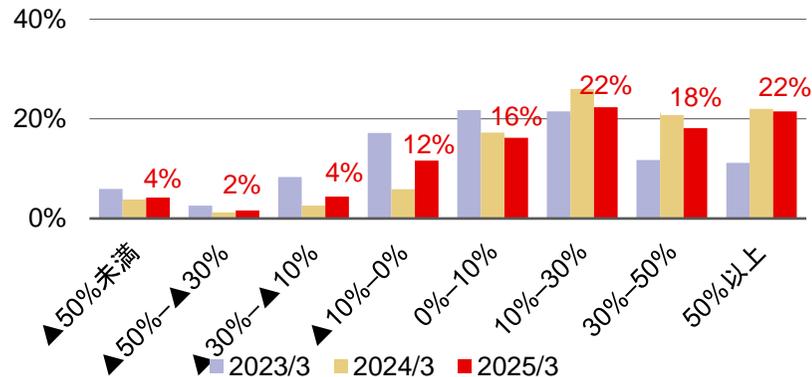
<ご参考> 合算トータルリターン公表

証券

- 証券では、お客様の投資方針やリスク許容度に応じて幅広い商品を組み合わせることで運用いただくポートフォリオ提案を重視しており、投資信託・ファンドラップに加えて株式・債券も含めた合算の運用損益状況でも評価しております。
- 合算の運用損益は安定的に推移しており、分散投資の効果を確認できております。
- なお、投資信託と同様に、過去の売却や償還による実現損益を勘案した結果も公表いたします。

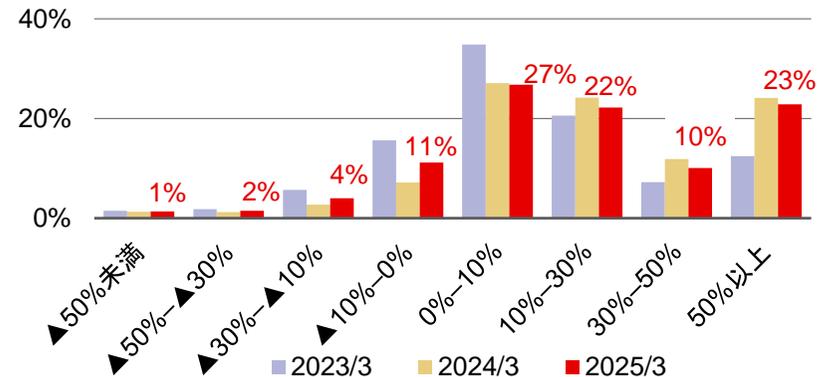
保有資産運用損益別顧客比率¹³

証券

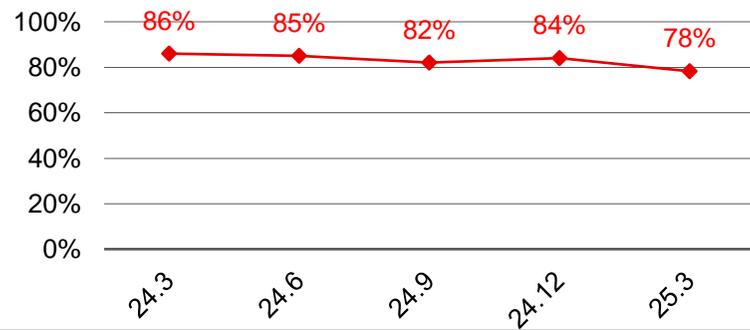


実現損益を含む保有資産運用損益別顧客比率¹⁴

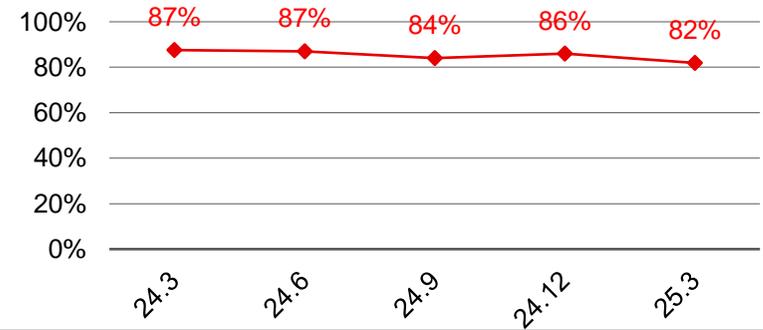
証券



【2024年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず)



(実現損益を含む)



(注) 13. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の株式、債券、投資信託、ファンドラップが対象

14. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。現在保有中の株式、債券、投資信託と、2014年12月以降に売却または償還となった株式、債券、投資信託の実現損益が対象

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(3) お客さまの投資判断に資するよう、手数料等の透明性向上を図ります。【原則4】

- 手数料等がどのようなサービスの対価であるかについて、お客さまに分かりやすい提供に努めてまいります。

手数料開示の考え方

銀行

- 金融商品の勧誘・販売時は契約締結前交付書面、目論見書、販売用資料等に基づき、重要な確認事項を纏めた「重要情報シート」等を用いて、お客さまがご理解されたかの確認をいたします。
- 重要情報シートでは、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示しており、リスクや運用実績など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めております。

信託

- 重要情報シートを用いて、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示いたします。手数料のレンジ記載(投信)など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めてまいります。また、組成にかかるコスト開示のない商品においては、類似の商品との比較をご説明する等の取り組みを行い、お客さまが商品内容をご理解できるように努めます。

証券

- 手数料等、重要事項は目論見書等の法的書面に加え、重要情報シートによる商品説明を実施し、お客さまの投資判断・類似商品比較に資する情報の明示に努めております。
- アセットクラス・投資手法、それぞれの定性・定量的な特徴を示す比較説明資料を策定し、一般的な手数料水準、手数料・費用項目を横並びで提示しており、お客さまの横断的な商品選定をサポートしております。

<ご参考>証券の取組(一般債) 証券

- 2024年度より、一般債のコスト開示を拡充しております。

商品	開始時期	内容
既発外債	2024年10月	お客さまに実質的にご負担いただくコストを開示
既発国内債	2025年1月	

<ご参考>信託の取組(MUFGファンドラップ) 信託

- 2024年1月より、パンフレットやホームページにてMUFGファンドラップの「主なご提供サービス」を開示しております。

■ MUFGファンドラップの主なご提供サービス

項目	内容
コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまの投資方針・運用経験・運用期間・リスクに対するお考え・資産状況等、お伺いした内容をもとに、弊社がお客さまに最適と考える運用コース・スタイルを「運用計画書」にてご提案。 ● 継続的な運用状況のご説明やコンサルティング、「投資環境の変化」や「お客さまのライフプラン」等に合わせて、お客さまの投資方針を再度ご一緒に見直し、必要に応じて、運用コース・スタイルの変更をご提案。
資産運用	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期的な投資環境の調査・分析に基づき、運用コース・スタイルごとの運用計画策定・投資対象ファンドの選定。 ● 運用計画に定める資産配分比率からの乖離を修正し、適正な比率を維持。
契約管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資一任契約の締結(法定根拠交付を含む)、変更・終了の管理。 ● お客さまごとの契約状況、残高、保有銘柄、口数、投資一任運用に係る報酬の計算・管理(長期保有割引を含む)。 ● プロフィットロックポイント・ロスカットポイント到達有無の管理、定時定額払戻、資産承継特約、代理出金特約の管理。
運用報告情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまごとの運用報告書の作成・交付(月次・四半期・終了)。 ● 運用報告セミナーの開催、運用報告動画の作成(年4回)、報酬控除後の運用実績、最新の期待リターン、推定リスクのホームページ公開。各種運用レポートの作成。

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(4) お客様本位の取組みに適合した業績評価体系を整備してまいります。【原則7】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客様の多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客様の立場で資産形成に資する商品を選定し、お客様にふさわしい商品をご提案してまいります。

業績評価体系

銀行

- お客様の利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続してまいります。また、運用・保障性商品の預り資産残高の項目を設定し、長期的な視野にたったうえで、お客様の最善の利益を追求する体制を構築しております。

信託

- お客様の利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続しております。また、顧客ロイヤルティを評価する業績評価体系を導入するとともに、より長期的な視野にたったうえで、お客様の最善の利益を追求する体制を構築してまいります。

証券

- ご信頼の証としてのお預り資産の拡大、およびお客様のニーズへの対応力(プロフェッショナルとしての専門性発揮)を評価する体系を整備し、お客様に寄り添った持続的な成長を目指します。
- お客様の最善の利益を追求するための活動が、担当者の評価に繋がるような業績評価体系としております。

<ご参考>業績評価体系のポイント

- MUFG各社では、「お客様の中長期的なお預かり資産の拡大」を目指すべく、お客様の資産運用残高の純増を中心に評価する体系を導入しており、お客様の最善の利益を追求する体制となっております。

各社の資産運用残高に関する評価項目(例)

銀行	項目名	運用・保障性商品残高(個人)ALL残高純増額
	対象商品	投資信託、生命保険、外貨預金、株式、債券、ファンドラップ、投資助言サービス等
	評価方法	増減額(増加取引額(販売※等)－減少取引額(売却等))を評価
信託	項目名	投信・ラップ残高純増
	対象商品	投資信託、ファンドラップ
	評価方法	純増額(増加取引額(販売※等)－減少取引額(売却等))の積上げを評価
証券	項目名	ストック資産純増額
	対象商品	投資信託、生命保険、投資一任サービス、投資助言サービス等
	評価方法	純増額(増加取引額(販売※等)－減少取引額(売却等))の積上げを評価

※更につみたて投資促進を目的とした評価体系あり

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(5) お客様の資産形成をサポートする様々な投資教育の機会を提供してまいります。【原則6】

- 「MUFG資産形成研究所」では、家計の安定的な資産形成の促進という社会課題解決に向けて、人生100年時代をより豊かに過ごしていただくための資産形成・資産運用等に関する調査研究・情報提供を中立的な立場で行っています。
- 2024年度は従業員ウェルビーイングと企業業績の関係性や企業勤務者の方のファイナンシャル・ウェルビーイングに関する調査等を実施して、調査結果をお客様に広く活用していただくために、WEBサイトでの調査研究レポート公表、シンポジウム開催等をはじめとした様々な機会を情報発信いたしました。

＜ご参考＞WEBサイトでのレポート掲載による情報提供

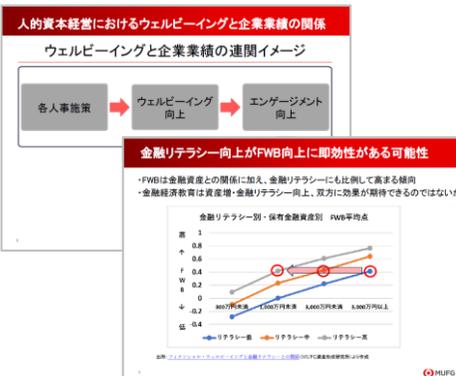
- ファイナンシャル・ウェルビーイングとは、「現在および将来にわたって、経済的な満足度が継続し、自律的に人生における選択が可能状態」と定義。働く人がお金についての不安を解消し、自律的な人生をおくるためのヒントや支援となるような情報を発信しました。
- 「データから読み解くファイナンシャル・ウェルビーイング」では、ファイナンシャル・ウェルビーイングと年収・資産との相関や行動特性等について調査しました。

WEBサイト掲載のレポート



＜ご参考＞シンポジウムの開催(2025年2月19日)

- 調査結果をご紹介するとともに、働く人に対する金融経済教育の充実、ひいてはファイナンシャル・ウェルビーイング向上が与える影響を有識者と共に考える場としてシンポジウムを開催いたしました。
- 働く人に対する効果的な金融経済教育の在り方や金融経済教育に取り組む意義等についても議論され、当日のアンケートでは約9割の方に「大変参考になった・参考になった」とご回答いただきました。



4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

(1) お客様の多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客様の多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客様の立場で資産形成に資する商品を選定し、お客様にふさわしい商品をご提案してまいります。

投資信託ラインアップ(2025年3月末)

カテゴリ	銀行 ¹⁵		信託 ¹⁶		証券 ¹⁷		eスマ ¹⁸	
	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	11	2%	11	3%	10	2%	42	2%
国内株式	60	11%	48	11%	69	12%	310	17%
海外債券	99	18%	109	26%	180	31%	323	18%
先進国	64	11%	75	18%	113	20%		
ハイイールド	10	2%	13	3%	38	7%		
エマージング	25	5%	21	5%	29	5%		
海外株式	244	43%	143	33%	209	36%	652	35%
先進国	203	36%	121	28%	182	32%		
エマージング	41	7%	22	5%	27	5%		
REIT	41	7%	29	7%	27	5%	141	8%
バランス型	90	16%	72	17%	58	10%	326	18%
その他	15	3%	14	3%	22	4%	51	3%
合計	560	100%	426	100%	575	100%	1,845	100%

(注) 15. 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、金融商品仲介口座での取扱投信の合算。追加型投信のみ(外国籍投信、単体型投信は含まず)。

通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

16. 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)。追加型国内投信のみ(外国籍投信、単体型・マネープールファンドは含まず)。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

17. 追加型投信のみ(外国籍投信を含み、単体型投信・マネープールファンド含まず)。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

18. 追加型投信のみ(外国籍投信、単体型投信含まず)。通貨選択型ファンドは各コースをまとめず各々1ファンドとしてカウント

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

- 生命保険は、お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- 足元は人生100年時代に対応する介護・認知症・年金ニーズにそなえる商品等を拡充しております。

生命保険ラインアップ(2025年3月末)							銀行	信託	証券
商品種類	銀行		信託		証券				
	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率			
一時払	円建	14	45%	12	57%	7	47%		
	投資型年金								
	定額年金	3	10%	4	19%	1	7%		
	終身	10	32%	8	38%	6	40%		
	介護・医療	1	3%						
	外貨建	17	55%	9	43%	8	53%		
	投資型年金								
	定額年金	4	13%	3	14%	2	13%		
	終身	13	42%	6	29%	6	40%		
	養老								
合計	31	100%	21	100%	15	100%			
平準払	終身保険	2	15%	1	17%	2	100%		
	定期保険								
	医療・がん保険	7	54%	2	33%				
	学資保険								
	年金・養老保険	2	15%	1	17%				
	介護保険	2	15%	2	33%				
	合計	13	100%	6	100%	2	100%		

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

- 多様な商品をお客さまがご選択いただけるよう、的確な情報提供に努めております。
- 銀行・信託では、バランス型ファンドやファンドラップ、株式系ファンドが上位を占めており、証券では、2019年度に取り扱いを開始したラップサービス、株式系ファンドが販売上位にランクインしております。

投資信託・ファンドラップ¹⁹販売額上位10銘柄、販売額割合（2024年度）

銀行

No	ファンド名	区分 ²⁰	毎月販売 分配割合
1	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ベーシック	11%
2	eMAXIS 日経225インデックス	ベーシック	10%
3	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	ベーシック	7%
4	MUFGウェルス・インサイト・ファンド(標準型)	ベーシック	7%
5	三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック	5%
6	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	ベーシック	5%
7	アライアンス・パースタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アドバンス	○ 3%
8	MUFGウェルス・インサイト・ファンド(積極型)	ベーシック	3%
9	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	アドバンス	○ 2%
10	iFreeNEXT FANG+インデックス	ベーシック	1%

信託

No	ファンド名	区分 ²⁰	毎月販売 分配割合
1	MUFG ファンドラップ	ベーシック	20%
2	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	ベーシック	5%
3	アライアンス・パースタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アドバンス	○ 4%
4	インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	アドバンス	○ 4%
5	日経平均高配当利回り株ファンド	アドバンス	3%
6	インデックスファンド225	ベーシック	3%
7	米国株式インデックス(S&P500)	ベーシック	3%
8	三菱UFJ純金ファンド(ファインゴールド)	アドバンス	3%
9	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)D(為替ヘッジなし)	アドバンス	3%
10	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	ベーシック	3%

証券

No	ファンド名	区分 ²⁰	毎月販売 分配割合
1	GRAN GOAL	ベーシック	15%
2	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	アドバンス	○ 13%
3	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	アドバンス	8%
4	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	アドバンス	5%
5	アライアンス・パースタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アドバンス	3%
6	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	アドバンス	○ 3%
7	インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	アドバンス	○ 2%
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	アドバンス	2%
9	三菱UFJ/マッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	アドバンス	2%
10	ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラスト - GS米ドル建てコーポレート・ターゲット・ボンド・サブ・トラスト - 2024-05米ドルクラス(年2回)	アドバンス	2%

(注) 19. 銀行: 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、ファンドラップ、金融商品仲介での取扱投信の合算

信託: 窓販投信(インターネットバンキング専用ファンド含む)、ファンドラップの合算

証券: 公募投信(ETF、REIT、短期金融型投信を除く)、ラップサービスの合算

19

20. 「ベーシック」商品は、投資環境の変化に応じ資産配分を調整するタイプのバランス型ファンド、為替変動リスクを抑え高格付け債券で運用するファンド、インデックス運用の株式ファンドのことで、これから資産運用を始められるお客さまやポートフォリオに組入れる基礎的な商品をご希望されるお客さま向けの商品。一方、「アドバンス」商品は特定の国や地域等に投資するアクティブ運用の商品で、独自のポートフォリオを組んで運用したいお客さまにもご満足できる幅広い投資対象となっているもの

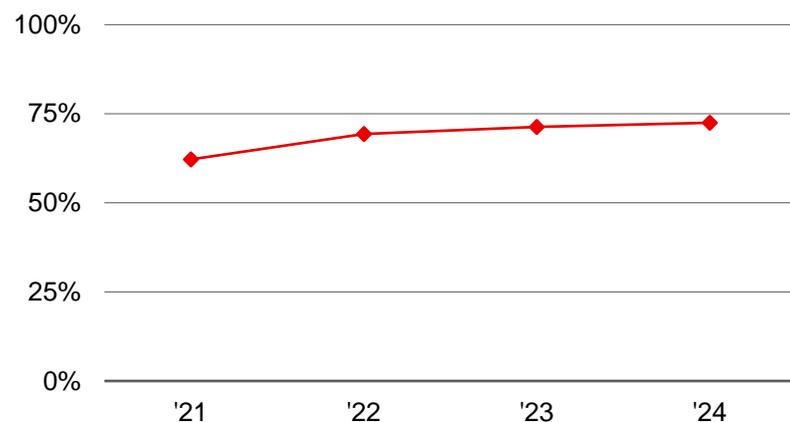


4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

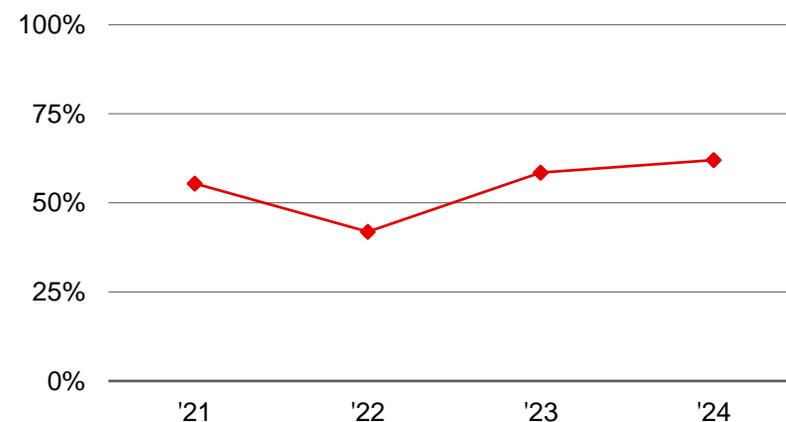
(2) 系列関係にとらわれることのない、商品選定および販売手続き等を整備してまいります。【原則3】

系列運用会社商品販売額比率

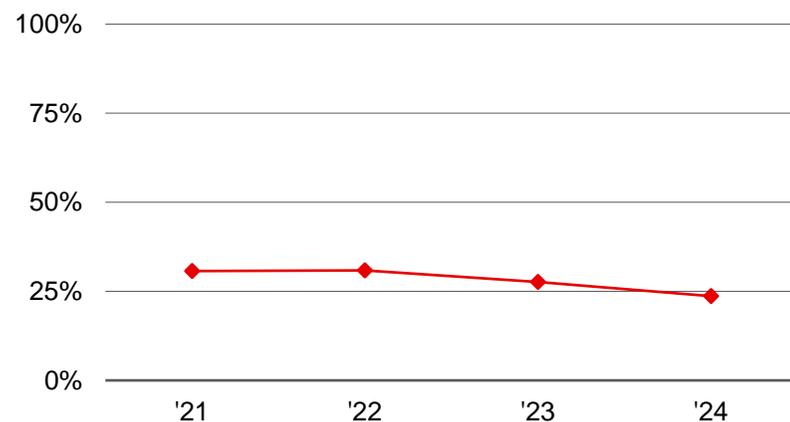
銀行



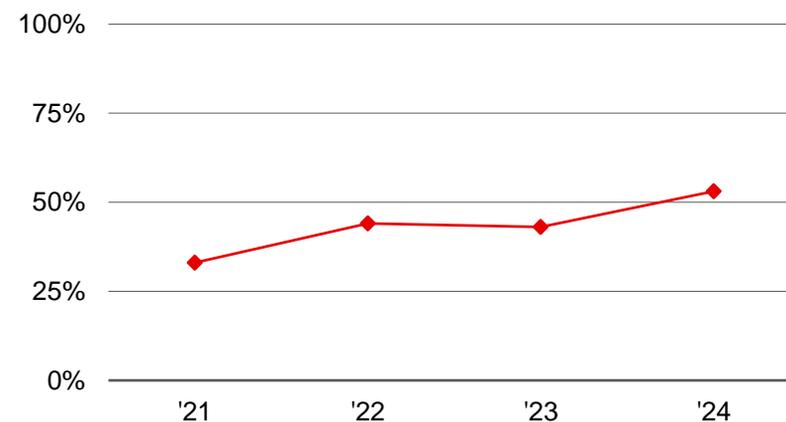
信託



証券



eスマ



5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

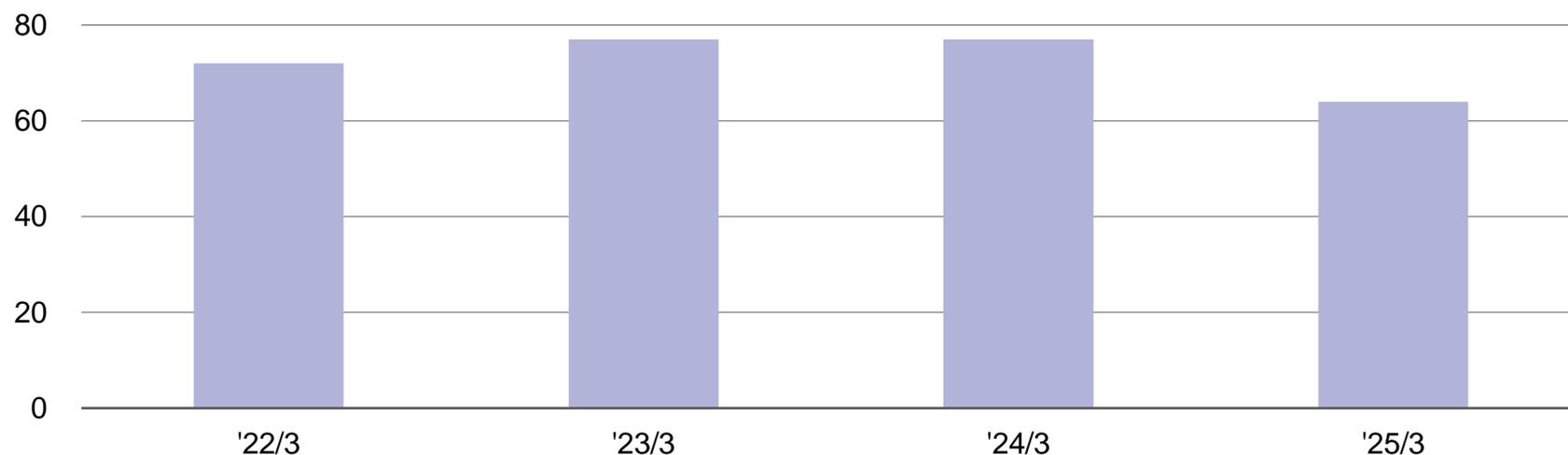
(1) 既存の運用手法の改善や新たな投資機会の追求に努めるとともに、運用・管理体制の高度化を図ってまいります。

【原則6】

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造するとともに、プロダクトガバナンスの高度化にも努めています。また、最良の投資成果をお客さまに提供するとともに、運用実績のモニタリングを通じた運用品質管理を徹底し、お客さまの最善の利益を追求してまいります。
- 運用人材の育成・強化による強固な運用体制を構築することを通じて、運用力の更なる向上に努めます。加えて、グループ内外の運用力を活用するとともに、海外の運用機関等も活用した運用ノウハウを蓄積し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。

Fundmark レーティング4 以上のファンド本数(本)²¹

MUAM



(注)21. Fundmarkレーティングは、野村総合研究所(NRI)が公表している、国内の追加型投資信託(以下、ファンド)の過去の運用実績に基づいた評価(レーティング)、評価期間は3年、運用方針や運用実態に沿って、ファンドの分類(Fundmark分類)を行い、同一分類内においてファンドのパフォーマンスを相対的に評価し、5段階の評価(レーティング)を発表している(評価方法等の詳細は、巻末ディスクレマー参照)

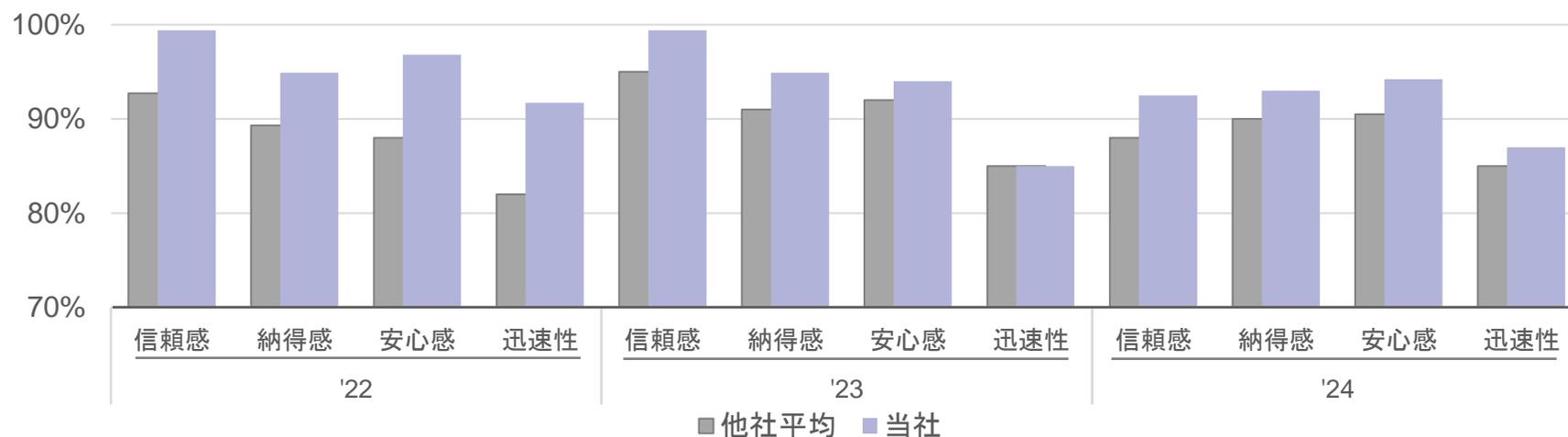
5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

(2) 運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、利益相反管理の徹底等運用機関としてのガバナンス態勢の強化に加え、スチュワードシップ活動の実効性をさらに高めてまいります。【原則3】

■ 運用の高度化に加え、「信頼感」「納得感」「安心感」「迅速性」のある情報提供ができているかを問う「個人投資家アンケート」を実施し、改善に努めています。引き続き、お客様のご期待に応えられるよう、投資成果向上に向けた運用の高度化や、商品・サービス・情報提供のさらなる向上などお客様の最善の利益を追求してまいります。

運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価(好意的評価の比率)²²

MUAM



(注) 22. 調査概要／対象者：追加型株式投信(除くETF)残高上位9社のファンドを保有する、対象運用会社の投信を3年以内に購入した全国20-79歳の男女を対象としたインターネット調査(回答数:各年度2,511名)
 好意的評価： 保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する4項目のイメージについて「その通りである」「まあその通りである」と答えた割合

6.資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

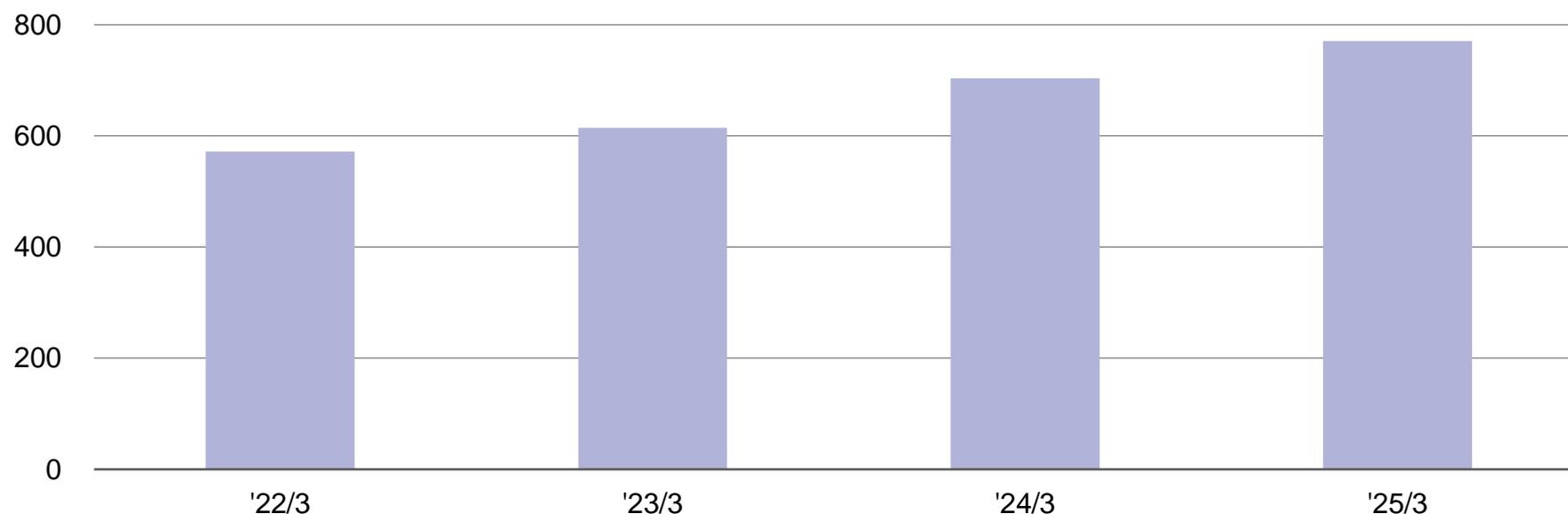
- (1) 資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスを提供してまいります。【原則2】
- (2) 資産管理に関する情報を幅広く、タイムリーに提供してまいります。【原則6】

- お客様のグローバルかつ多様な投資ニーズに応えられるよう、新商品・新サービスへの取り組みを進めています。
- 先端技術を駆使した高い事務品質・生産性に加え、様々な環境変化等にも対応した安定したサービス提供に努めてまいります。

資産管理残高(兆円)²³

信託

MTBJ



(注) 23. 年金信託、投資信託等の信託財産残高に加え、カストディ等事務委任を受けている財産の残高を含む

7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

(1) グループ各社の商品・サービス、ノウハウおよびリソースを結集し、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供することで、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。【原則2】

■ 運用商品のご提供にとどまらず、次世代への資産承継も見据えながら、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供してまいります。

<ご参考> MUFGグループ総力をあげた、資産承継サポート

■ 円滑な資産承継のために、お客さまの多様なニーズに対し、トータルにお応えいたします。

MUFGのサポート体制



お客さまの資産マネジメントに対する多様なニーズ

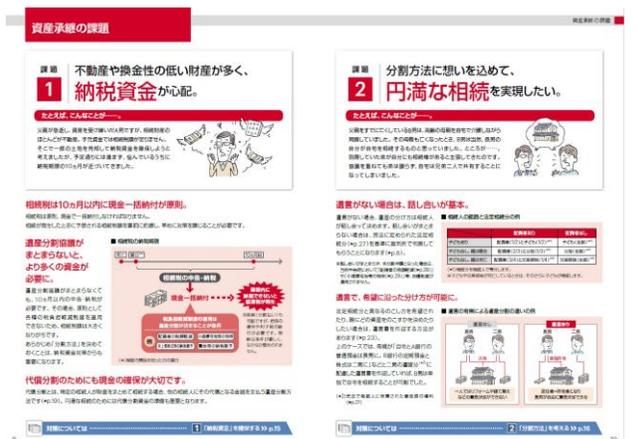
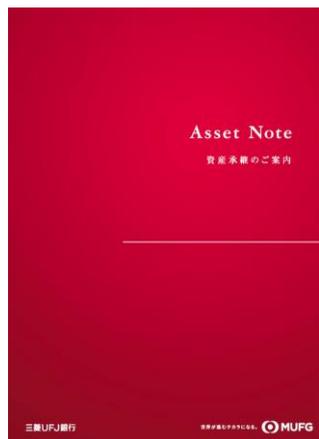
グループ総力を挙げたソリューション提供

- 納税資金対策
- 相続財産対策
- 分割方法対策
- 事業承継対策

三菱UFJ銀行

MUFGグループ各社

提携外部専門家



7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

- MUFGはグループ会社の強みを掛け合わせることで、お客さま一人ひとりの資産形成の支援を加速してまいります。
- また、お客さまに中長期にわたり寄り添うサービスを提供し、日本における個人の健全な資産形成の発展への貢献を行ってまいります。

<ご参考> ウェルスナビとの協働

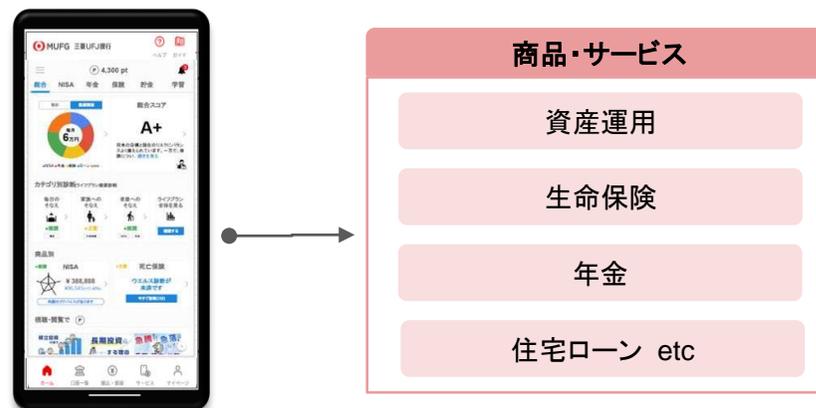
- ウェルスナビは、「働く世代に豊かさを」というミッションを掲げ、働く世代の豊かな老後のために、「長期・積立・分散」の資産運用を全自動化したサービス、ロボアドバイザー「Wealth Navi」を提供しております。
- 三菱UFJ銀行は、ウェルスナビと協働し、ウェルスナビのスピーディーな商品企画及び開発力を発展させ、お客さまの健全な資産形成の発展への貢献を行ってまいります。
- 具体的には、ロボアドバイザーサービスの普及加速、生涯にわたりお客さまのお金の悩みを解決する総合アドバイザー・プラットフォーム(MAP²⁴)の開発・提供を目指しております。

ロボアドバイザーサービス



— 全自動の資産運用 —
面倒なことおまかせ! NISAも対応
くわしくはこちら ▶
WealthNavi for 三菱UFJ銀行

MAP:1人別に商品ご案内



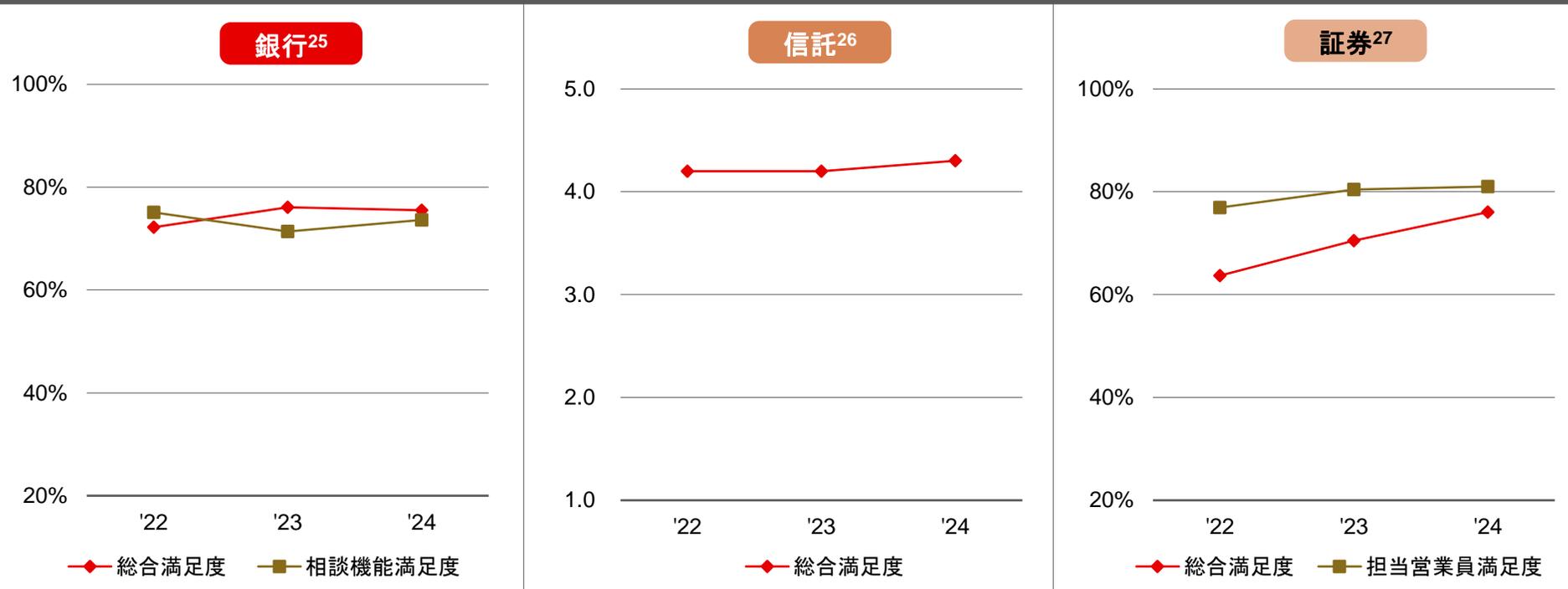
(注) 24. Money Advisory Platform。顧客データを収集し、アルゴリズムを介して、お客さまにとって最適な商品をアドバイスする機能

8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

(1) 店頭・コールセンター・インターネット等の多様なチャネル整備とともに、安心・安全にお取引いただける態勢を構築してまいります。【原則6】

■ お客様の声を起点としたサービス向上を目的に、定期的に満足度調査を実施しております。
お客様からの声をサービスの更なる改善に反映させてまいります。

満足度調査



(注) 25. 調査概要／対象者：無作為に抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約10,000名／回答数：約2,100名）
 総合満足度： 当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
 相談機能満足度： 資産運用、ライフプラン、ローンの相談・取引について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
 26. 調査概要／対象者：直近でお取引をいただいたお客さまから抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：13,272名／回答数：6,142名）
 満足度： 当社との様々な取引から、お客さまが担当者を総合的に判断した満足度（「満足している」-「不満である」の5段階）の平均値
 27. 調査概要／対象者：30歳以上、投資性金融資産残高1,000万円以上の個人のお客さまを対象としたインターネット調査（回答数412件）
 総合満足度： 当社との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
 担当営業員満足度： 担当営業員の対応について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

9.プロフェッショナリズムの発揮

(1) お客さまと末永い信頼関係を築くため、プロフェッショナル人材の育成および専門性のさらなる向上に継続的に取り組んでまいります。【原則2】

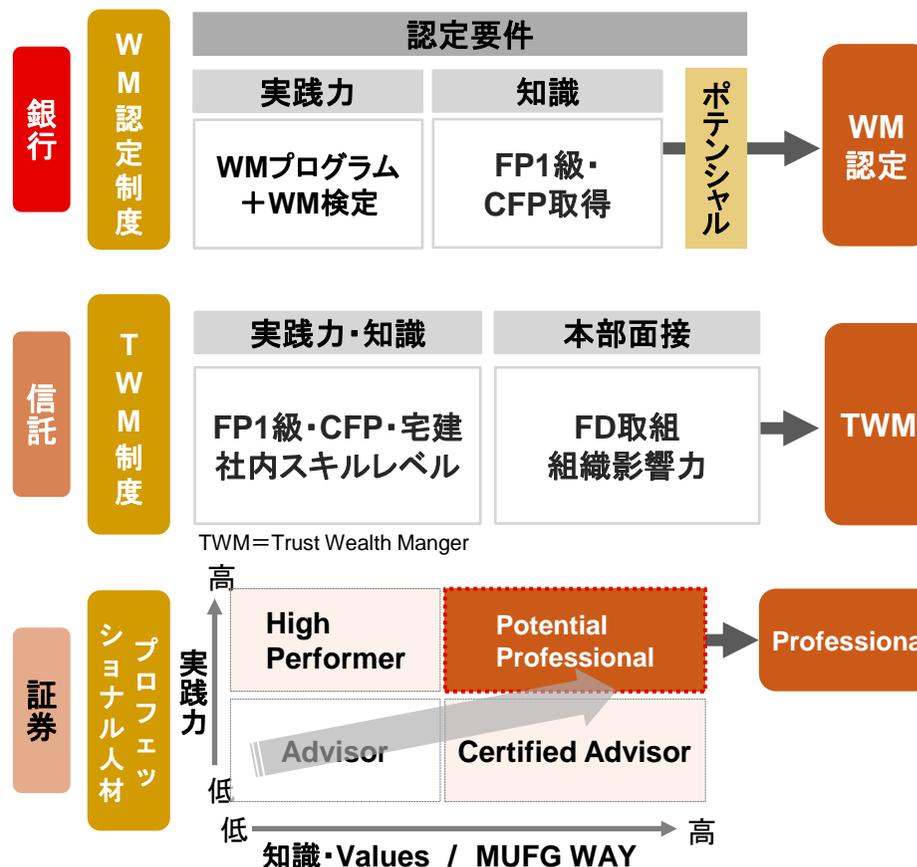
- 高度化かつ多様化するお客さまのニーズに対応し、お客さまと末永い信頼関係を築くため、高い専門性と人間性をもつ人材の育成に、グループで継続的に取り組んでまいります。

<ご参考>人材育成への取組み

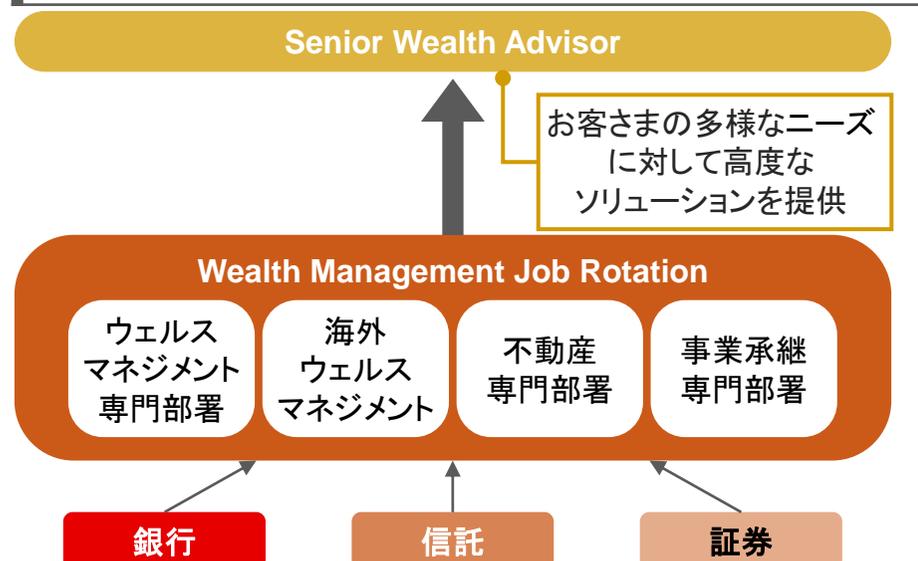
*WM=ウェルスマネジメント

- WM*領域のプロフェッショナルであるシニアウェルスアドバイザーの育成に向け、グループ横断で専門知識を学ぶ機会を提供するWMジョブローテーションを実施しております。
- 高度な実践力、知識、人間性を有し、お客さまの多様なニーズに対応できる担当者の育成に向け、グループ各社でWM人材制度を構築してまいります。

各社WM人材制度



WMジョブローテーションプログラム



製販全体としてお客さまの最善の利益を実現するための取組み
(組成会社・販売会社における情報連携)

2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

2.(1) 常にお客様本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客様のニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

4.(1) お客様の多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 信託では、組成部署と販売部署が参加する会議体を設置し、想定する顧客属性を踏まえ情報も連携しながら議論を重ね、お客様の最善の利益を実現するための商品開発や商品ラインアップの整備に努めています。
- MUAMでは、組成会社として各商品の購入を想定しているお客様の属性を特定し、販売会社へ連携するとともに、考え方をホームページで公表しています。また、提供する商品の価値の維持・向上にも継続的に取り組んでいます。
- 銀行では、お客様のニーズに合った商品やサービスを提供するために、商品性の検証²⁸や想定されるお客様の特定、ならびに既存商品の販売状況について定期的に確認を行っております。

1. プロダクトガバナンス²⁹の取り組み

信託

- 組成部署と販売部署が参加する会議体を設置し、お客様ニーズ等を踏まえたうえで商品開発や継続可否について議論し、商品提供、ラインアップの整備をしています。

◇新商品会議（導入時プロセス）

【目的】新商品・新規業務の取り組み方針につき審議・決定（随時開催）

【参加者】組成部署、販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署など

【内容】商品性やリスクリターン特性のほか、想定顧客やニーズ、販売見込、報酬水準、採算性などにつき共有、関係各部から意見収集を行い、採否を決定

◇プロダクト再評価会議（導入後モニタリングプロセス）

【目的】提供する商品について、お客様目線に基づいて、検証、商品の継続可否や運用仕様等の商品性変更を審議・決定（半期毎に開催）

【参加者】組成部署、販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署など

【内容】再評価基準に抵触したプロダクトにつき、パフォーマンス、販売状況、顧客動向等を踏まえプロダクト戦略上の必要性や商品性・販売戦略の方針につき審議し、プロダクトの戦略方針を決定

2. 投資信託の組成会社としての取り組み

MUAM

- 最適な投資信託をお客様へ提供するため、組成会社として、各商品の購入を想定しているお客様を特定しています。商品理解の難易度など商品性の観点と、投資経験や投資知識の観点から検討し、お客様への販売時に参考となるよう販売会社へ連携するとともに、その考え方をHPで公表しています。

HP掲載の「考え方」はこちら⇒

当社が考える、各商品の購入を想定するお客様について

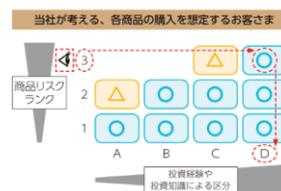
商品を購入する3つのシナリオで商品ランクを決定する。商品理解の難易度などに基づいて分類した商品リスクランク（詳細図）に応じて、その商品の購入を想定するお客様を、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しております。

具体的には、「A：投資経験がない方」「B：投資経験がないが投資経験が十分にある方」「C：投資経験がある方、または投資知識がある方」「D：投資経験および投資知識が十分にある方」の4つになります。

※ 経験が豊富かつ投資などによる購入を想定しています。

下記の図にて、各商品リスクランクの中心にいる箇所にはまるお客様が、当社がその商品の購入を想定しているお客様になります。

※ 図は、当社では、主に運用監視（対象資産と運用コースが異なるもの）などの商品理解の難易度が相対的に高いと考えられる商品などを、商品リスクランク「3」としてはいます。



- また、投資信託の提供価値の維持・向上にも継続的に取り組んでいます。運用や商品開発の担当部署では、ファンド運営に加え、その品質管理・改善に日常的に取り組むとともに、監督部署によるモニタリングを通じて、お客様の信頼に応える商品提供を心掛けています。

(注) 28. 商品リスクの種類と大きさや費用とパフォーマンス、商品ランク等の検証

29. お客様へ良質な商品（プロダクト）・サービスを提供するために、商品の組成・運用において適切な運営・モニタリング・品質管理を行うことを指します

2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

2.(1) 常にお客様本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客様のニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

4.(1) お客様の多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 証券では、お客様の最善の利益を実現させる商品ラインナップの提供に向けた決裁プロセスを構築しております。
- また、投資一任業者としてファンドラップを組成しており、今後は販売会社と協議の上、情報連携を実施し、サービスの向上に努めていきます。

1. プロダクトガバナンスの取組み

証券

- お客様の最善の利益を実現すべく、リスク管理部署による新商品検討に加え、以下の決裁プロセスを構築しています。
- 商品の新規導入、モニタリング、改廃と、各商品のライフサイクルを意識した協議を行い、お客様のニーズに応える商品提供に努めています。

◇プロダクトガバナンス会議(商品の新規導入、モニタリング、改廃)

【目的】お客様の最善の利益に適う商品・サービス等の採用、見直し、取扱停止等に係る審議

【参加者】組成・販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署等

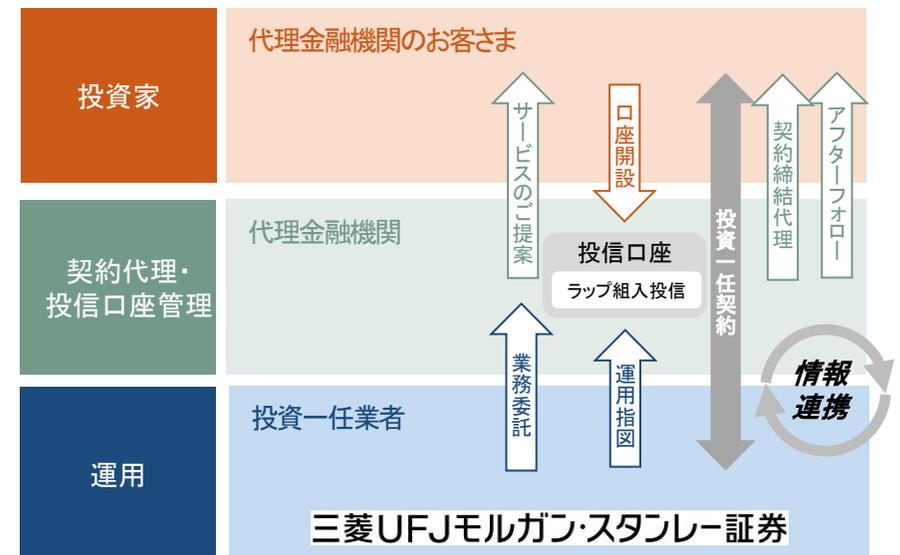
【内容】

- 新規導入: お客様の最善の利益を実現する商品ラインナップ提供に向け、商品性、リスクの種類と大きさ、販売後のモニタリング体制等を踏まえ、当社が販売する商品としての妥当性を検証のうえ審議等を行う。
- 導入後管理・改廃: 相場変動時の対応状況、商品ごとのリスクランク、販売実績、コスト・リスク・リターンの分析等、販売を継続することの妥当性を検証し、必要に応じて改廃の審議等を行う。

2. ファンドラップの組成会社としての取組み

証券

- 証券では投資一任業者として、自社が直接販売を行わないファンドラップを組成しています(P7ご参照)。
- 今後は販売会社と協議の上、情報連携を実施し、サービスの向上に努めていきます。



FD基本方針(序文)

■ 本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、その取組状況を定期的に公表するとともに、MUFGもその取組みをモニタリングし、本方針を定期的に見直します。また、MUFGグループは、豊かな生活へ向けた社会の変化をリードすべく、よりお客さま本位の業務運営の実現を目指します。【補充原則5】

■ お客さまがより良い金融商品を選択できるよう、運用体制やプロダクトガバナンス体制等について分かりやすい情報提供に努めてまいります。

分かりやすい情報提供

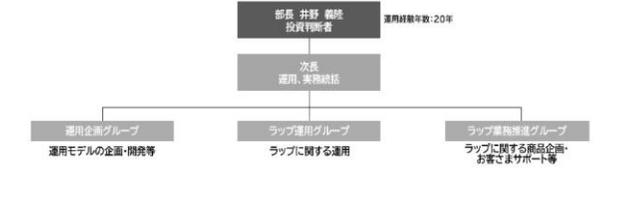
信託

■ 信託では、運用体制等について、ホームページや重要情報シートで情報提供しています。また、商品提供後は、定期的に運用報告資料を提供しています。

[弊社HPはこちらをご覧ください⇒](#)

「重要情報シート」(個別商品編/ファンドラップ)

運用は、受託財産部門に属する投資顧問業務部が担当しています。投資顧問業務部は個人のお客さまの運用を専門で担当する部署として2023年4月に発足し、ファンドラップの運用等に加え、ラップの商品企画やお客さまのサポート等を担っています。



MUAM

■ MUAMでは、HPを通じて運用体制や運用責任者、投資哲学について情報提供しています。
 ■ また、プロダクトガバナンス体制に加え、商品提供後の品質管理について定期的にプロダクトガバナンス・レポートとして提供しています

[運用に係る情報は
こちらをご覧ください⇒](#)

[プロダクトガバナンス
レポートは
こちらをご覧ください⇒](#)

証券

■ 証券では、運用体制等について、今後は「重要情報シート」への掲載を念頭に情報提供に努めて参ります。
 ■ 商品提供後も定期的にレポートを作成し、お客さまへの分かりやすい情報提供に努めています。

銀行

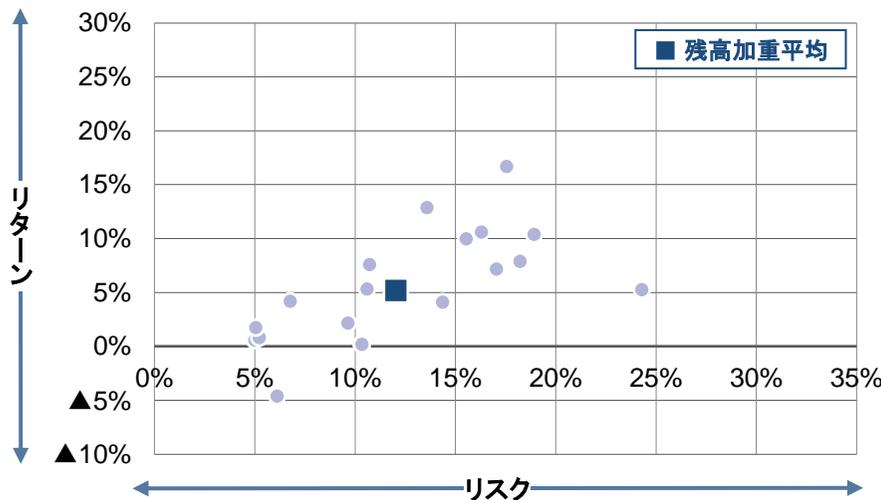
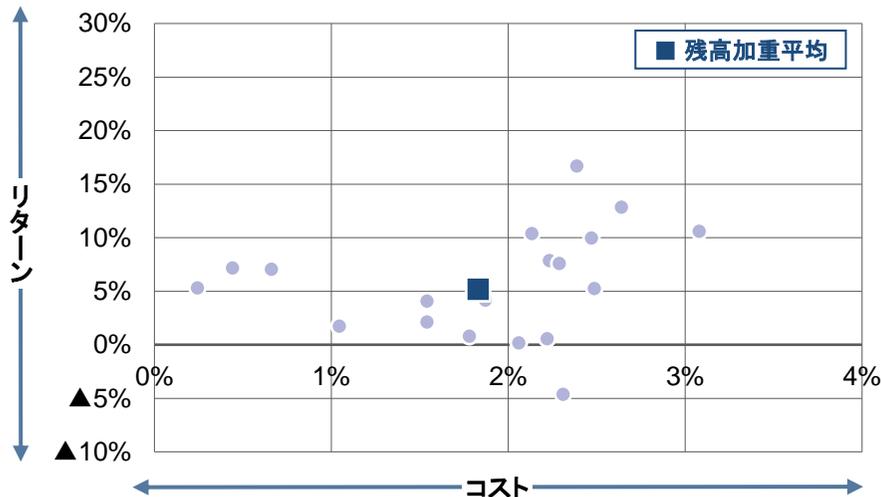
■ 銀行では、商品性に関する情報について、販売用資料等を活用し、分かりやすい情報提供に努めています。

共通KPI

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,32} (2023年3月)

銀行



銘柄名	コスト	リスク	リターン
1 三菱UFJ インデックス225オープン	0.66%	17.06%	7.06%
2 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド (愛称:クアトロ)	2.22%	5.00%	0.57%
3 ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	6.77%	4.19%
4 JPMベスト・インカム(毎月決算型)	2.06%	10.32%	0.21%
5 スマート・クオリティ・オープン(安定型) (愛称:スマラップ)	1.78%	5.23%	0.82%
6 UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型)	1.54%	9.64%	2.14%
7 新光US-REITオープン(愛称:ゼウス)	2.23%	18.22%	7.87%
8 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.59%	12.85%
9 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.72%	7.59%
10 アライアンス・パースタイン・米国成長株投信 Dコース 毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	17.56%	16.69%
11 ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	1.54%	14.35%	4.08%
12 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)	1.05%	5.05%	1.74%
13 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.13%	18.92%	10.40%
14 MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCO インカム・ファンド 円-毎月分配クラス	2.31%	6.11%	▲4.61%
15 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(愛称:健次)	3.08%	16.30%	10.59%
16 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.54%	9.97%
17 JPMベスト・インカム(年1回決算型)	2.06%	10.34%	0.19%
18 つみたて8資産均等バランス	0.24%	10.59%	5.32%
19 フランクリン・テンプレートン・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.49%	24.29%	5.27%
20 eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	17.05%	7.17%
残高加重平均(■)	1.83%	12.05%	5.16%

(注) 30. 2023年3月、2024年3月または2025年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

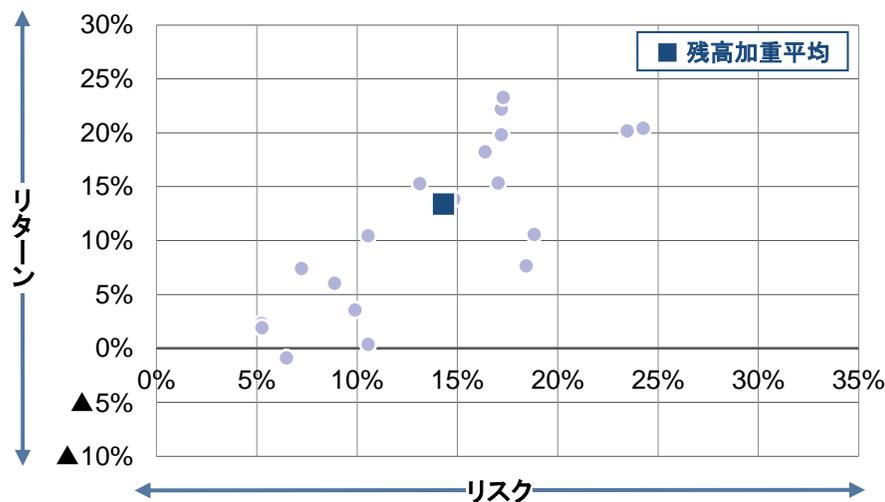
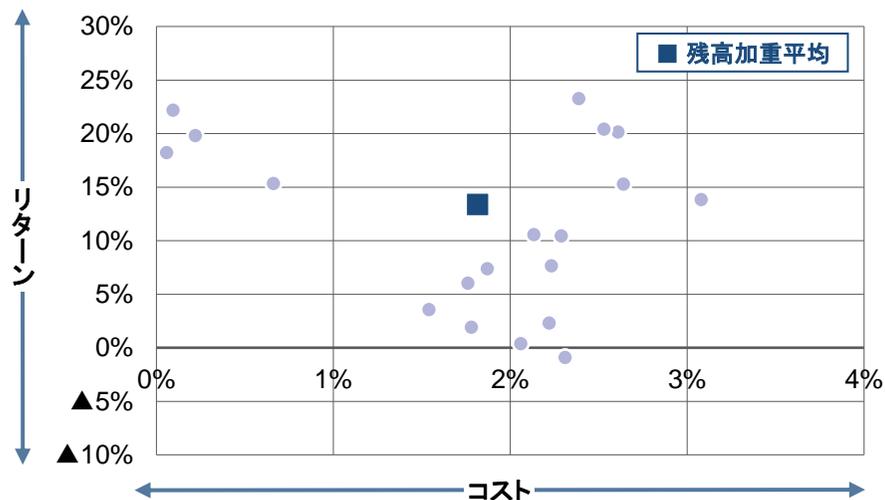
31. コスト: 販売手数料の1/5+信託報酬、リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、リターン: 過去5年のトータルリターン(年率換算)

32. 2023年3月基準においては、窓販投信・金融商品仲介・紹介型仲介(旧三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券)の預かり残高の合算にて銘柄抽出

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,33} (2024年3月)

銀行



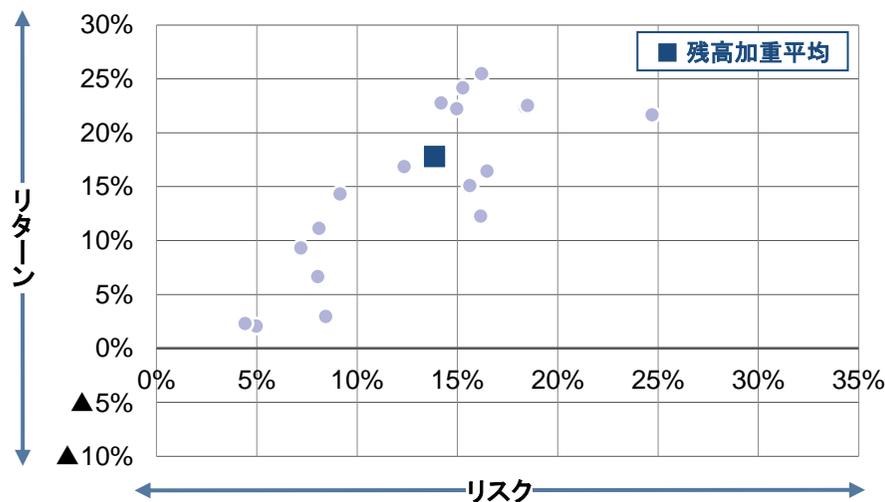
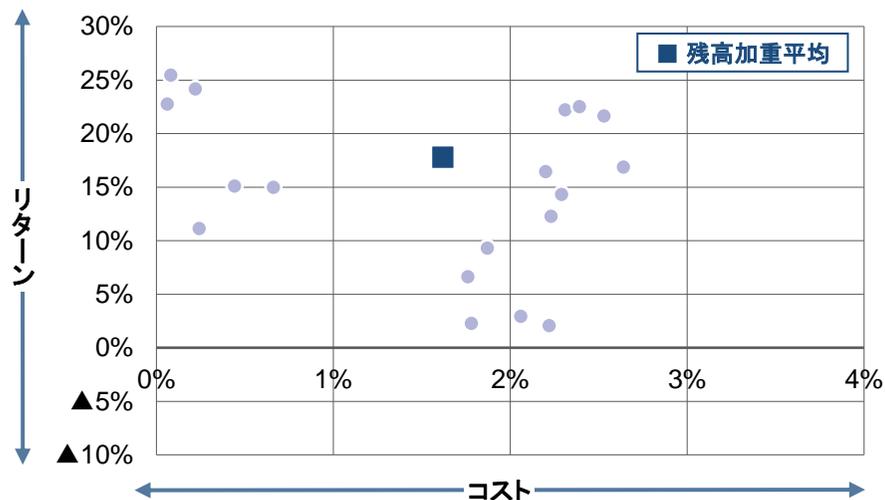
銘柄名	コスト	リスク	リターン
1 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース 毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2 三菱UFJ インデックス225オープン	0.66%	17.03%	15.35%
3 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	15.28%
4 eMAXIS Slim米国株式 (S&P500)	0.09%	17.19%	22.19%
5 イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	23.46%	20.16%
6 三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファン ド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1.76%	8.87%	6.03%
7 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型) B(為替ヘッジなし)	2.29%	10.54%	10.46%
8 ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.23%	7.40%
9 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド (愛称:クアトロ)	2.22%	5.23%	2.31%
10 JPMベスト・インカム(毎月決算型)	2.06%	10.55%	0.38%
11 スマート・クオリティ・オープン(安定型) (愛称:スマラップ)	1.78%	5.25%	1.91%
12 新光 US-REITオープン(愛称:ゼウス)	2.23%	18.42%	7.66%
13 eMAXIS Slim全世界株式(オール・カントリー)	0.06%	16.38%	18.23%
14 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.13%	18.82%	10.56%
15 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース (為替ヘッジなし)	2.39%	17.29%	23.28%
16 サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	2.53%	24.26%	20.42%
17 UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型)	1.54%	9.90%	3.57%
18 MUAMグローバル・ケイマン・トラスト- PIMCO インカム・ファンド 円-毎月分配クラス	2.31%	6.47%	▲0.90%
19 つみたて先進国株式	0.22%	17.18%	19.81%
20 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(愛称:健次)	3.08%	14.82%	13.85%
残高加重平均(■)	1.82%	14.32%	13.35%

(注) 33. 2024年3月基準より、窓販投信・金融商品仲介・紹介型仲介の預かり残高の合算にて銘柄抽出

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,33} (2025年3月)

銀行

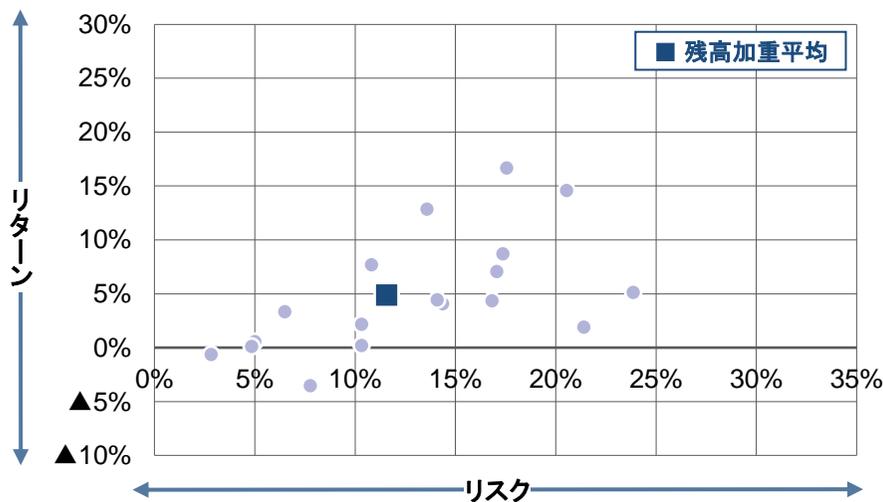
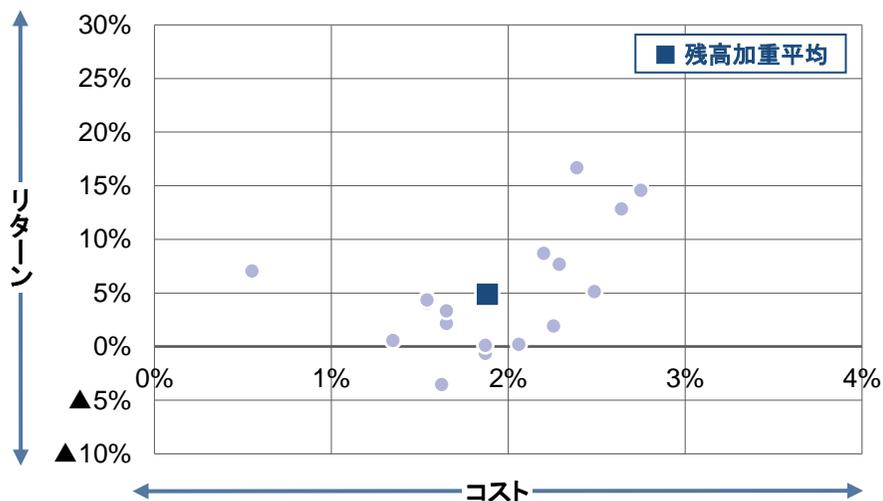


銘柄名	コスト	リスク	リターン
1 eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	0.08%	16.20%	25.47%
2 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型<為替ヘッジなし>予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
3 イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	17.35%	30.04%
4 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	12.34%	16.87%
5 三菱UFJ インデックス225オープン	0.66%	15.63%	14.98%
6 三菱UFJ/マコーリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1.76%	8.03%	6.65%
7 eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	0.06%	14.19%	22.77%
8 フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	2.31%	14.96%	22.23%
9 フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし)	2.29%	9.14%	14.34%
10 ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.19%	9.31%
11 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	2.39%	18.49%	22.52%
12 フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	16.47%	16.45%
13 ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)	2.22%	4.97%	2.06%
14 つみたて先進国株式	0.22%	15.26%	24.18%
15 つみたて8資産均等バランス	0.24%	8.10%	11.13%
16 eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	15.62%	15.11%
17 サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	2.53%	24.71%	21.67%
18 スマート・クオリティ・オープン(安定型)(愛称:スマラップ)	1.78%	4.41%	2.30%
19 新光 US-REITオープン(愛称:ゼウス)	2.23%	16.15%	12.28%
20 JPMベスト・インカム(毎月決算型)	2.06%	8.43%	2.95%
残高加重平均(■)	1.62%	13.88%	17.77%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,34} (2023年3月)

信託



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) (愛称:花こよみ)	1.65%	6.50%	3.34%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.72%	7.59%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	10.32%	2.18%
4	ニッセイ J-REITファンド(毎月決算型)	1.54%	14.35%	4.08%
5	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.39%	1.92%
6	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)	1.54%	14.10%	4.43%
7	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)	1.35%	5.00%	0.57%
8	優良日本株ファンド(愛称:ちから株)	1.54%	16.82%	4.35%
9	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	17.06%	7.06%
10	三菱UFJバランス・イノベーション(株式抑制型)	1.87%	2.82%	▲0.63%
11	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース 毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	17.56%	16.69%
12	トレンド・アロケーション・オープン	1.62%	7.76%	▲3.52%
13	三菱UFJバランス・イノベーション(株式重視型)	1.87%	4.84%	0.12%
14	ニッセイ 豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	23.86%	5.14%
15	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	1.65%	6.50%	3.33%
16	ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	2.20%	17.35%	8.71%
17	netWINGSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	20.53%	14.60%
18	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)	2.29%	10.81%	7.69%
19	JPMベスト・インカム(毎月決算型)	2.06%	10.32%	0.21%
20	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.59%	12.85%
	残高加重平均(■)	1.88%	11.58%	4.85%
	①【ご参考】MUFGファンドラップ (リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし)	1.25%	6.85%	2.54%
	②【ご参考】MUFGファンドラップ(下方リスク抑制コース)	1.25%	3.08%	▲1.92%

(注) 34. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品(MUFGファンドラップ)を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は「下方リスク抑制コース*」と、「リスク分散コース*」は契約者数が最も多い

「成長型ヘッジファンドなし」とする

*「金融庁比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

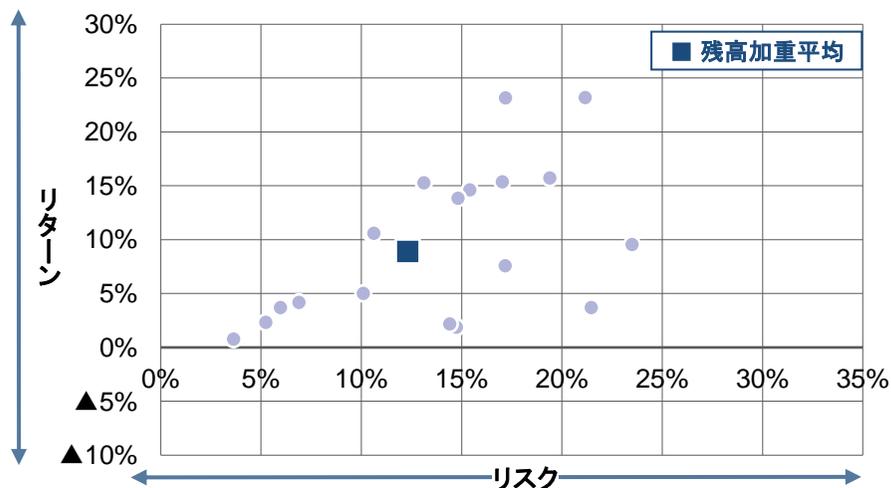
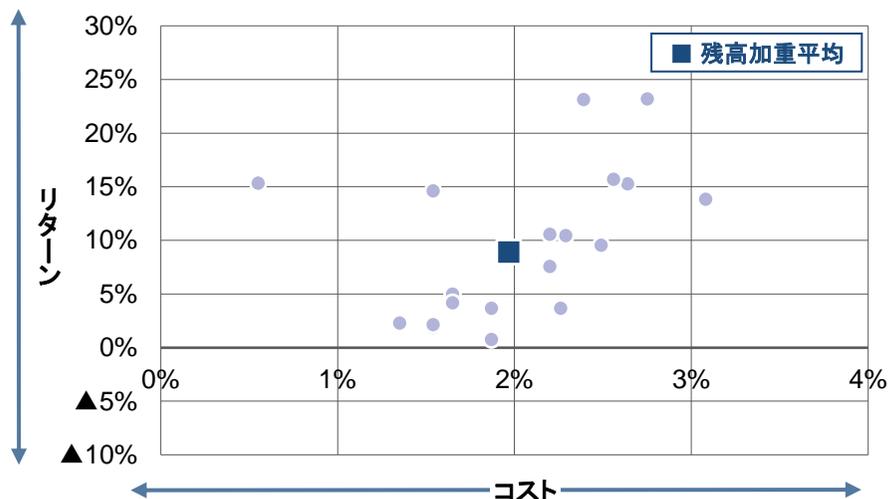
①リスク、リターン: モデルポートフォリオの数値を使用(実際の運用実績とは異なる)。信託報酬および以下②コストを控除

②コスト: 投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,34} (2024年3月)

信託

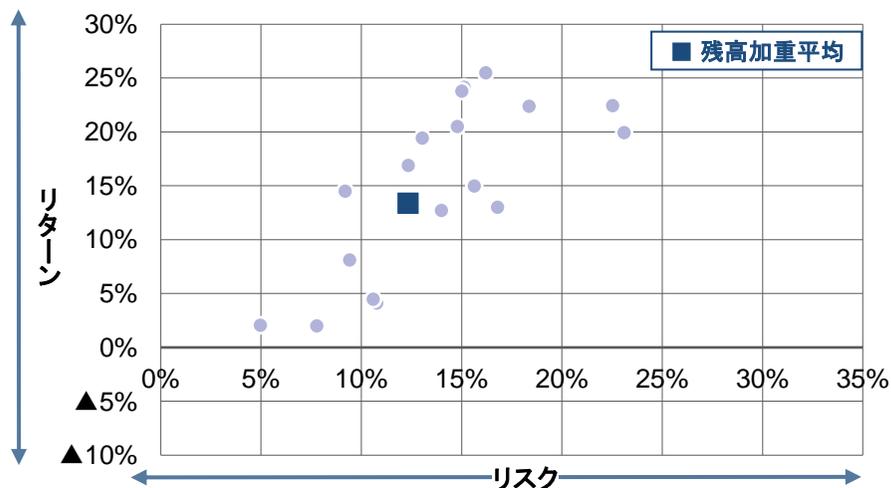
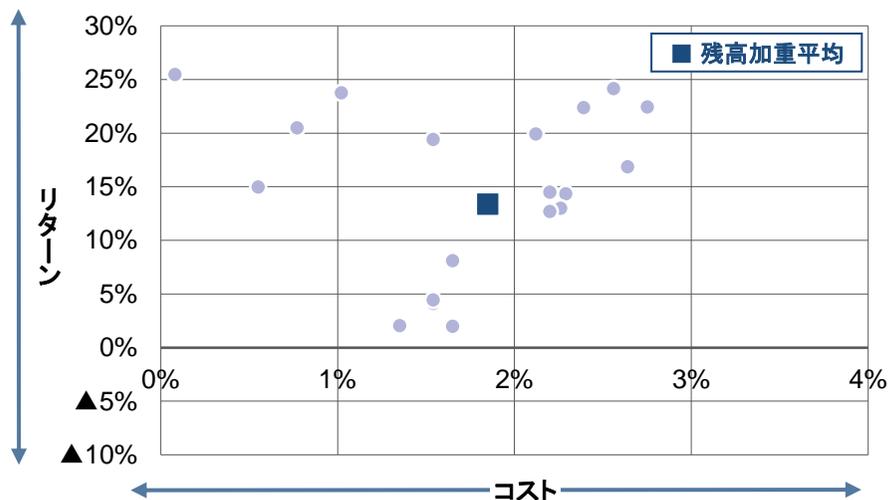


	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) (愛称:花こよみ)	1.65%	6.89%	4.18%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型) B(為替ヘッジなし)	2.29%	10.54%	10.46%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	10.09%	5.00%
4	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.46%	3.68%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
6	netWINGSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	21.15%	23.19%
7	ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	1.54%	14.74%	1.88%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型) D(為替ヘッジなし)	2.20%	10.62%	10.58%
9	優良日本株ファンド(愛称:ちから株)	1.54%	15.41%	14.62%
10	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	17.03%	15.35%
11	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式 オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	15.28%
12	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)	1.54%	14.41%	2.16%
13	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)	1.35%	5.23%	2.31%
14	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	1.65%	6.89%	4.18%
15	三菱UFJバランス・イノベーション(株式重視型)	1.87%	5.96%	3.68%
16	ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	2.20%	17.17%	7.56%
17	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	23.50%	9.54%
18	三菱UFJバランス・イノベーション(株式抑制型)	1.87%	3.63%	0.77%
19	インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2.56%	19.39%	15.71%
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(愛称:健次)	3.08%	14.82%	13.85%
	残高加重平均 (■)	1.97%	12.33%	8.87%
	①【ご参考】MUFGファンドラップ (リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし)	1.21%	6.86%	5.33%
	②【ご参考】MUFGファンドラップ(下方リスク抑制コース)	1.11%	3.73%	▲0.44%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン^{31,34} (2025年3月)

信託

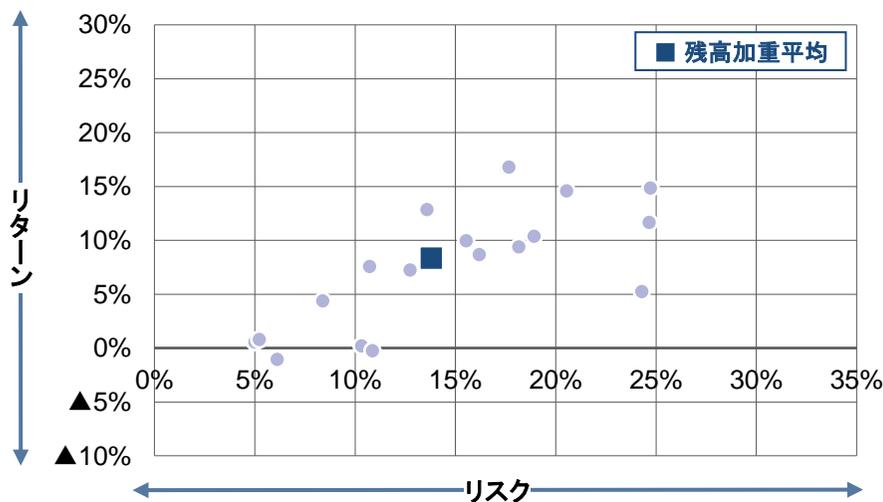
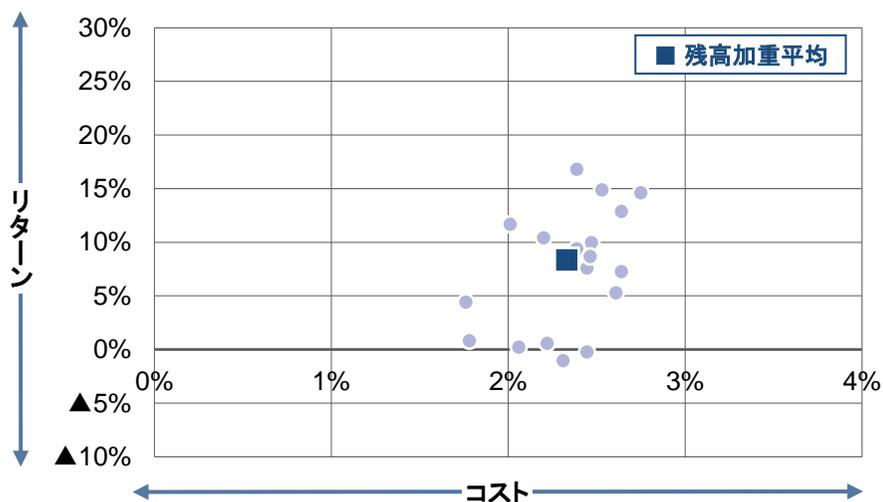


	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型) B(為替ヘッジなし)	2.29%	9.14%	14.34%
2	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) (愛称:花こよみ)	1.65%	7.77%	1.99%
3	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型) D(為替ヘッジなし)	2.20%	9.19%	14.51%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
5	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	9.42%	8.10%
6	netWINGSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	22.53%	22.45%
7	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	16.79%	13.01%
8	インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2.56%	15.12%	24.15%
9	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	12.34%	16.87%
10	三菱UFJ純金ファンド(愛称:ファインゴールド)	0.77%	14.79%	20.51%
11	優良日本株ファンド(愛称:ちから株)	1.54%	13.04%	19.41%
12	ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	2.12%	23.10%	19.93%
13	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	15.01%	23.78%
14	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	15.63%	14.98%
15	ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	1.54%	10.77%	4.12%
16	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	1.65%	7.77%	1.99%
17	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)	1.35%	4.97%	2.06%
18	ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	2.20%	13.99%	12.70%
19	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)	1.54%	10.59%	4.46%
20	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	0.08%	16.20%	25.47%
	残高加重平均(■)	1.85%	12.35%	13.34%
	①【ご参考】MUFGファンドラップ (リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし)	1.18%	6.13%	6.45%
	②【ご参考】MUFGファンドラップ(下方リスク抑制コース)	0.98%	3.81%	▲0.79%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰コスト／リスク・リターン³¹ (2023年3月)

証券

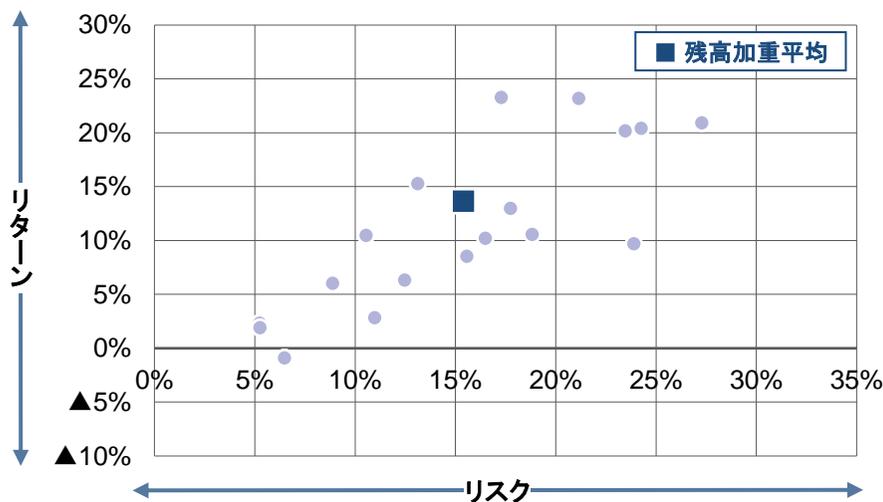
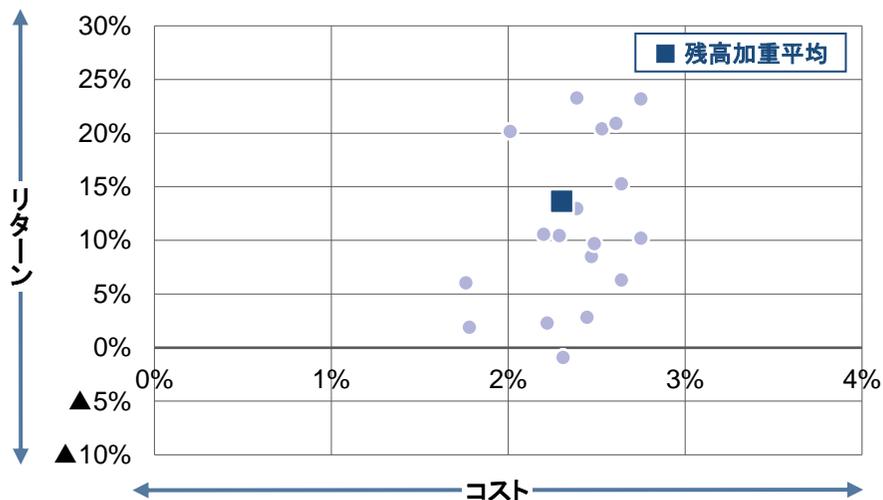


	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	17.56%	16.69%
2	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン (為替ヘッジなし)	2.64%	13.59%	12.85%
3	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファン ド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1.76%	8.38%	4.40%
4	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト- PIMCO インカム・ファンド 円-毎月分配クラス	2.31%	6.11%	▲1.04%
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.54%	9.97%
6	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド (愛称:クアトロ)	2.22%	5.00%	0.57%
7	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン (為替ヘッジあり)	2.64%	12.73%	7.27%
8	スマート・クオリティ・オープン(安定型) (愛称:スマラップ)	1.78%	5.23%	0.82%
9	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	2.39%	17.66%	16.79%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	2.39%	18.16%	9.40%
11	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	18.92%	10.40%
12	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCOインカム・ ファンド 円-年1回分配クラス	2.31%	6.12%	▲1.04%
13	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	24.66%	11.67%
14	JPMベスト・インカム(毎月決算型)	2.06%	10.32%	0.21%
15	グローバルCoCo債ファンド 円ヘッジコース	2.45%	10.87%	▲0.24%
16	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファン ド(毎月分配型)	2.49%	24.29%	5.27%
17	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	2.53%	24.72%	14.87%
18	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.72%	7.59%
19	JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	2.46%	16.18%	8.68%
20	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	2.75%	20.53%	14.60%
	残高加重平均(■)	2.34%	13.82%	8.32%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト／リスク・リターン³¹(2024年3月)

証券

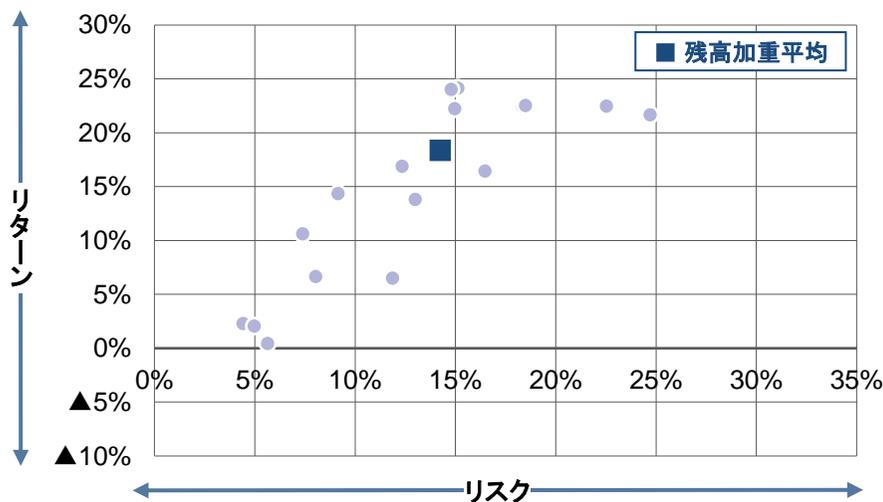
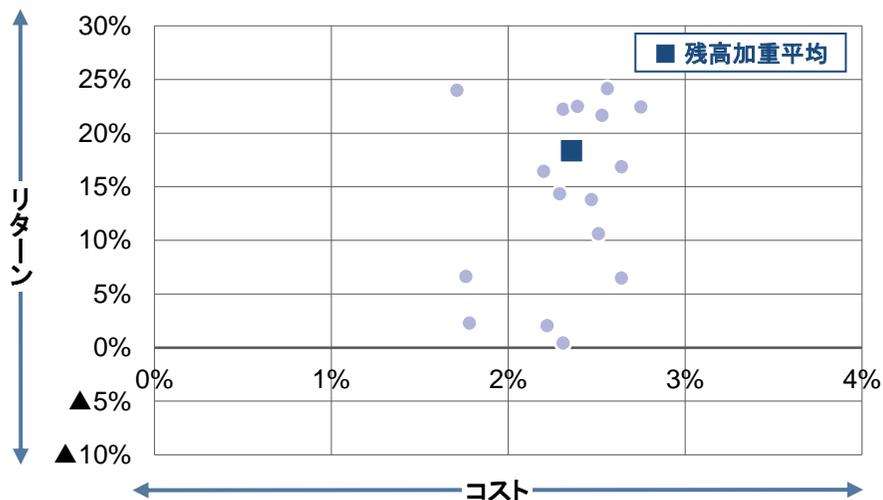


	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	23.46%	20.16%
3	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファン ド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1.76%	8.87%	6.03%
4	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	13.12%	15.28%
5	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	2.39%	17.29%	23.28%
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B (為替ヘッジなし)	2.29%	10.54%	10.46%
7	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCO インカム・ ファンド 円-毎月分配クラス	2.31%	6.47%	▲0.90%
8	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	18.82%	10.56%
9	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.57%	8.52%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	2.75%	21.15%	23.19%
11	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	2.53%	24.26%	20.42%
12	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン(為替ヘッジあり)	2.64%	12.47%	6.33%
13	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド (愛称:クアトロ)	2.22%	5.23%	2.31%
14	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	27.27%	20.91%
15	スマート・クオリティ・オープン(安定型) (愛称:スマラップ)	1.78%	5.25%	1.91%
16	ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジ なしコース	2.75%	16.48%	10.21%
17	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型(為替ヘッジあり)予想分配金提示型	2.39%	17.74%	12.98%
18	フランクリン・テンプレートン・オーストラリア高配当株 ファンド(毎月分配型)	2.49%	23.90%	9.70%
19	グローバルCoCo債券ファンド 円ヘッジコース	2.45%	10.98%	2.84%
20	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト-PIMCO インカム・ ファンド 円-年1回分配クラス	2.31%	6.48%	▲0.92%
	残高加重平均(■)	2.37%	15.42%	13.63%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄³⁰のコスト/リスク・リターン³¹(2025年3月)

証券



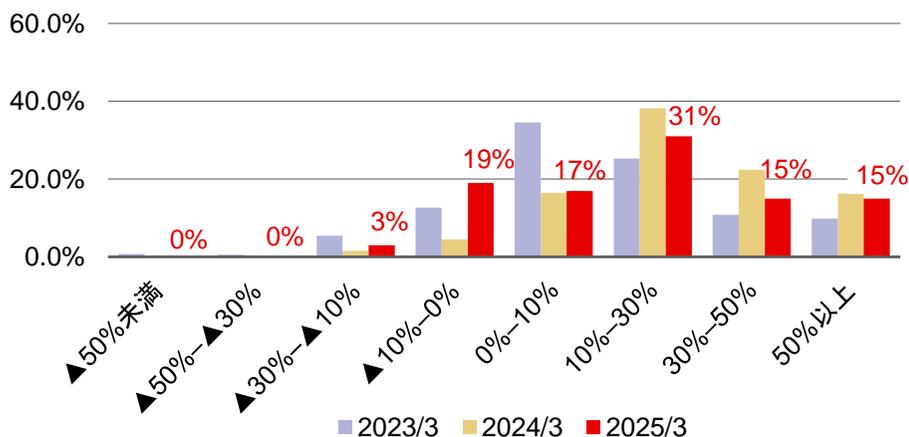
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
2	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	17.35%	30.04%
3	三菱UFJ/マッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1.76%	8.03%	6.65%
4	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.64%	12.34%	16.87%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	2.31%	14.96%	22.23%
6	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	2.39%	18.49%	22.52%
7	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	16.47%	16.45%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし)	2.29%	9.14%	14.34%
9	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	20.95%	34.74%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	22.53%	22.45%
11	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト - PIMCO インカム・ファンド 円・毎月分配クラス	2.31%	5.64%	0.45%
12	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2.56%	15.12%	24.15%
13	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	12.99%	13.82%
14	ダイヤセレクト日本株オープン	1.71%	14.78%	24.01%
15	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	2.53%	24.71%	21.67%
16	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	2.51%	7.39%	10.62%
17	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	2.64%	11.87%	6.49%
18	スマート・クオリティ・オープン(安定型)(愛称:スマラップ)	1.78%	4.41%	2.30%
19	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)	2.22%	4.97%	2.06%
20	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2.51%	7.39%	10.62%
	残高加重平均(■)	2.36%	14.25%	18.33%

共通KPI

- 投資信託・ファンドラップをご購入いただいたお客さまの運用損益状況をお示しております。
- なお、MUFGでは、よりお客さまの実感に近い内容でお伝えすることを目的に、金融庁公表の定義に加え、過去の全部売却や償還により実現した損益を勘案した結果を合わせて公表しています。

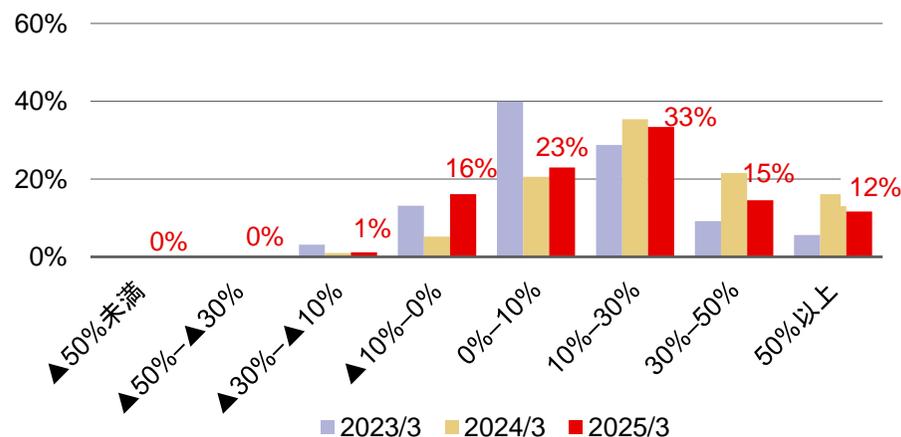
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

銀行³⁵

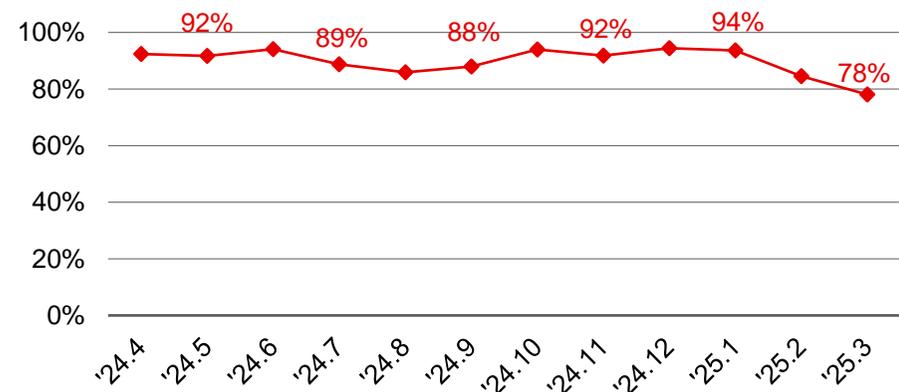


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

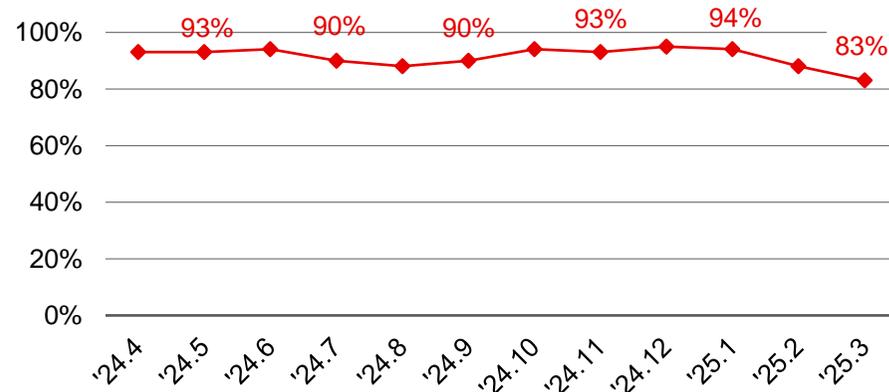
銀行³⁶



【2024年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず)



(実現損益を含む)



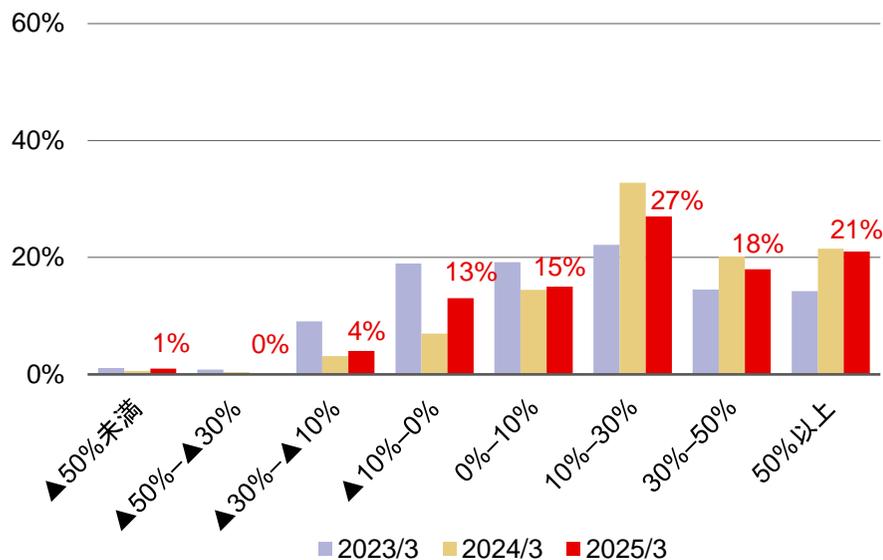
(注) 35. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象

36. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。窓販投信は2014年12月以降、金融商品仲介は2017年1月以降に売却または償還となった実現損益が対象

共通KPI

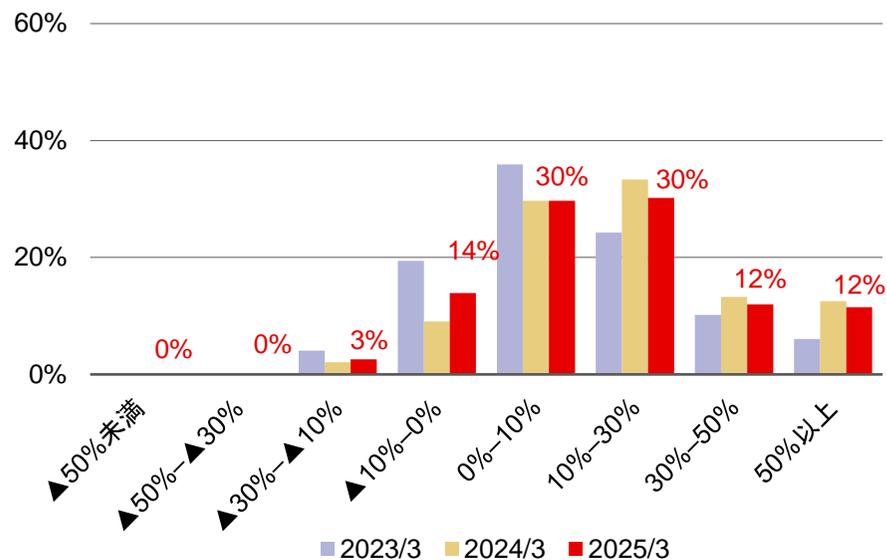
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

信託³⁵

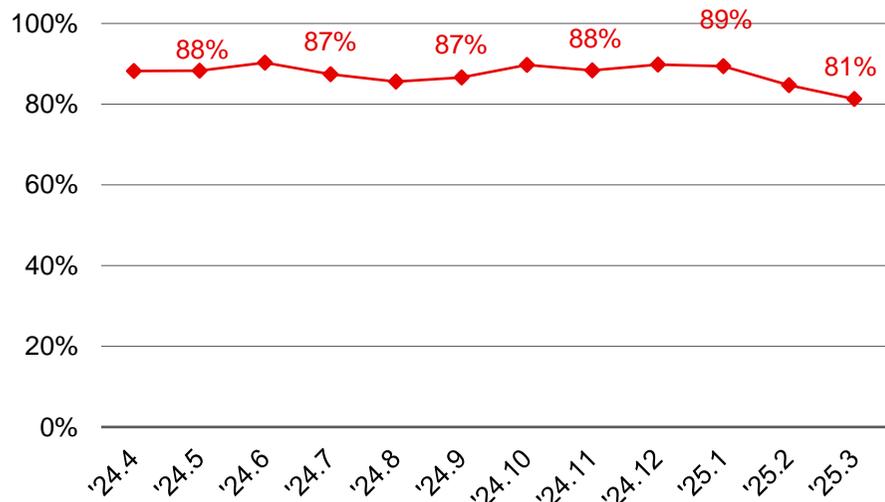


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

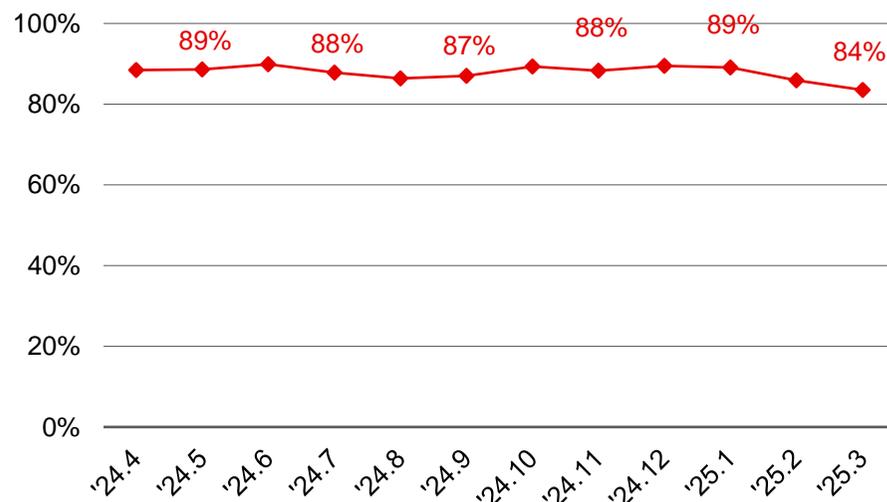
信託³⁷



【2024年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず)



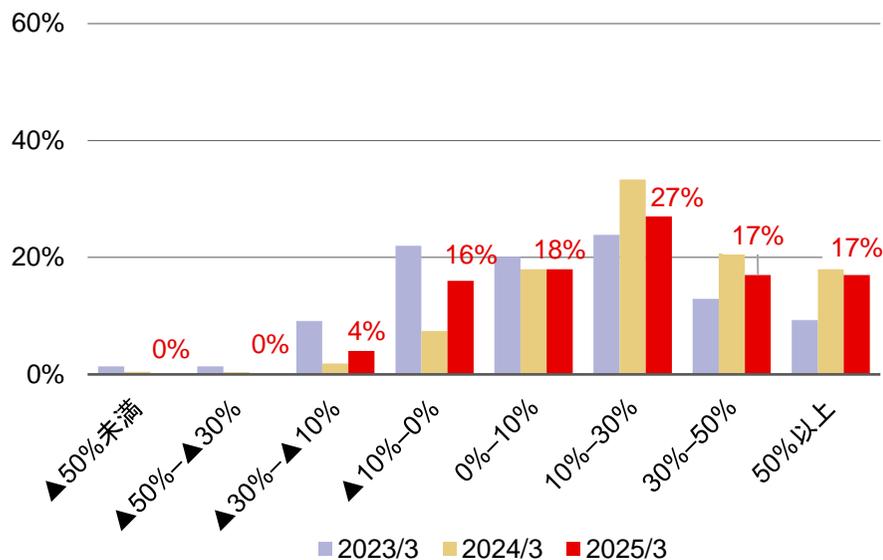
(実現損益を含む)



共通KPI

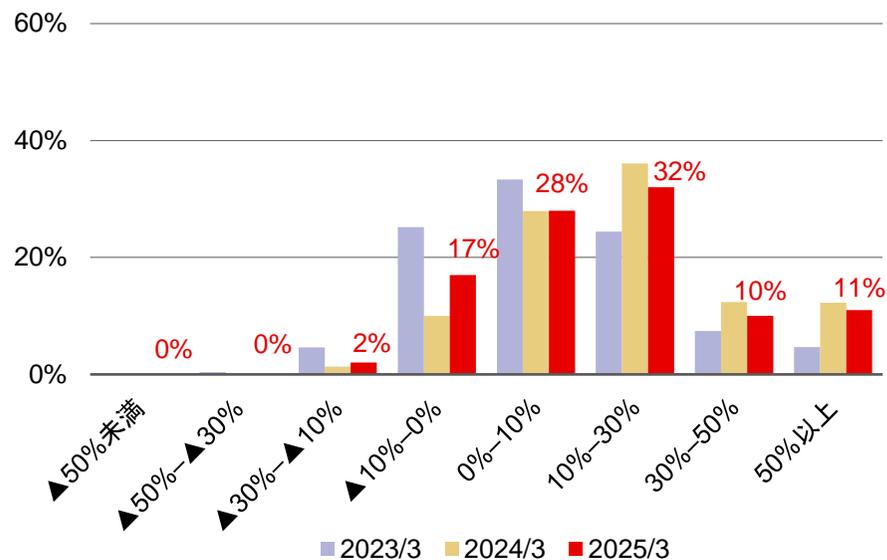
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

証券³⁵

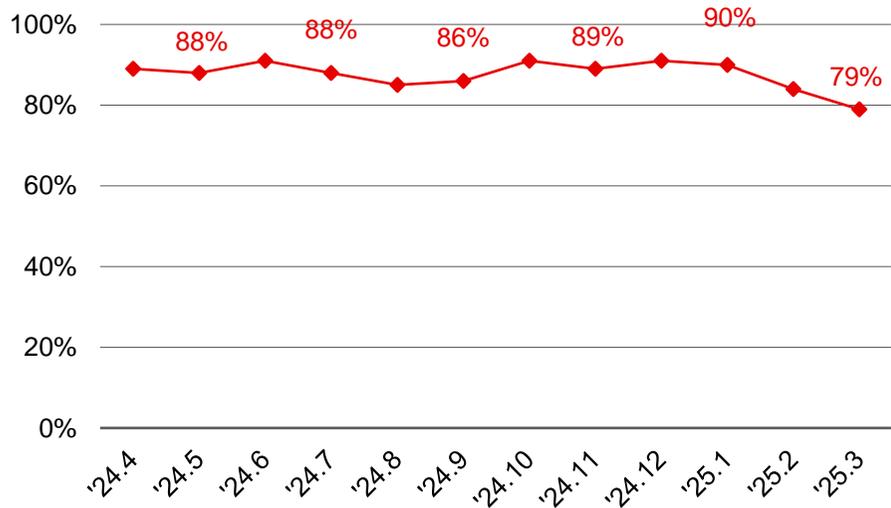


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

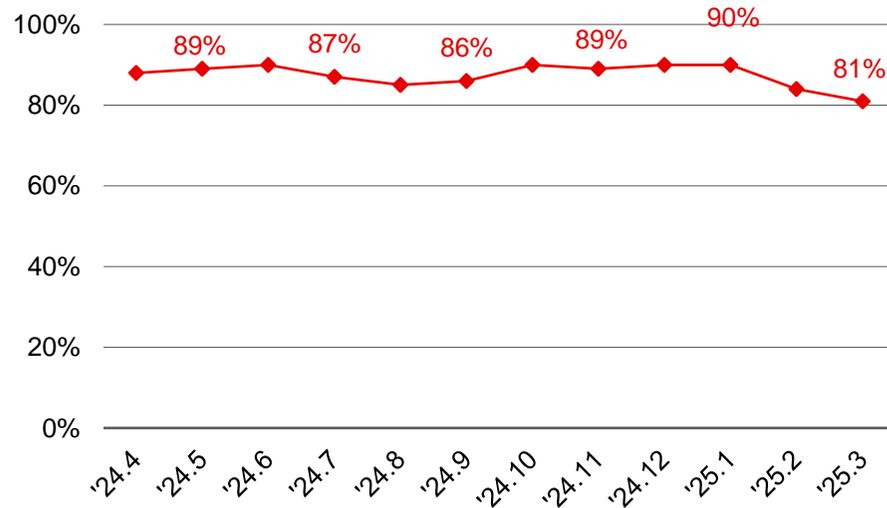
証券³⁸



【2024年度の運用損益プラス顧客比率の状況】(実現損益を含まず)



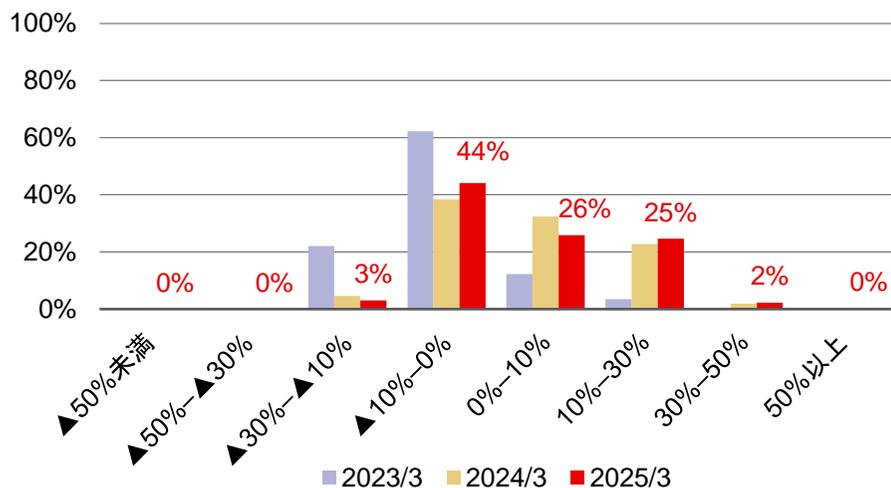
(実現損益を含む)



共通KPI

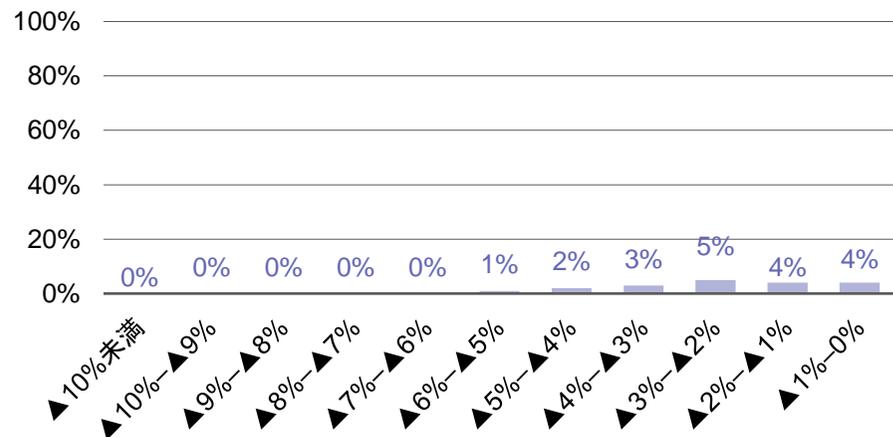
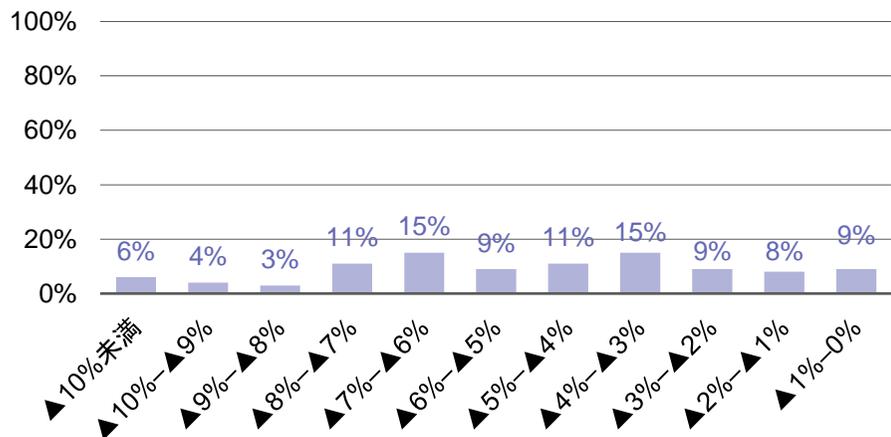
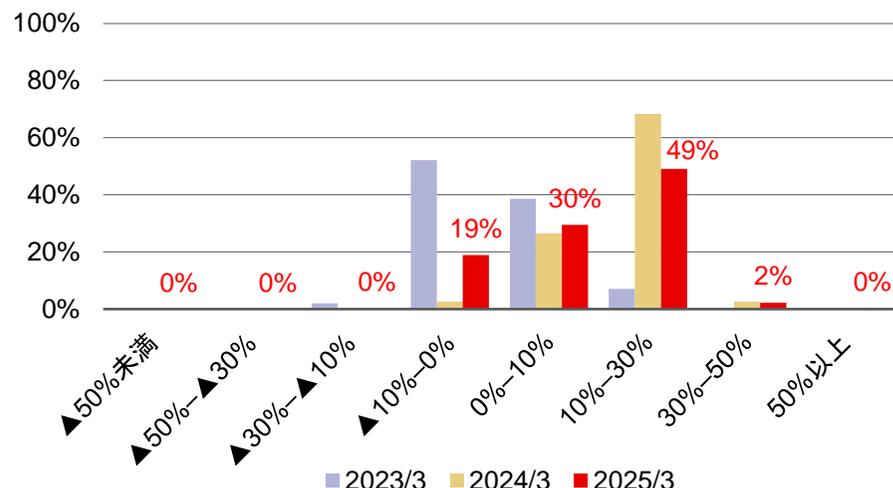
【共通KPI】ファンドラップ運用損益別顧客比率³⁹

信託



【共通KPI】ラップサービス運用損益別顧客比率⁴⁰

証券



(注) 39. ① MUFGファンドラップトータルリターン

【計算式】(1) 月次収益率 = $(1+r1)(1+r2)...(1+rn) - 1$ ※ $r1 \sim rn$: 各日次収益率

(2) 上記(1)を運用期間の月数分乗算

期間の収益率 $(1+R1)(1+R2)...(1+RN) - 1$ ※ $R1 \sim RN$: 各月次収益率

② 資産運用口座トータルリターン

【計算式】基準日時価評価金額 ÷ 投資元本 ※ 投資元本: 一部出金、追加増額を考慮

40. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「基準日時価評価金額」。分子は、「基準日時価評価金額+累計払戻金額-累計払込金額」

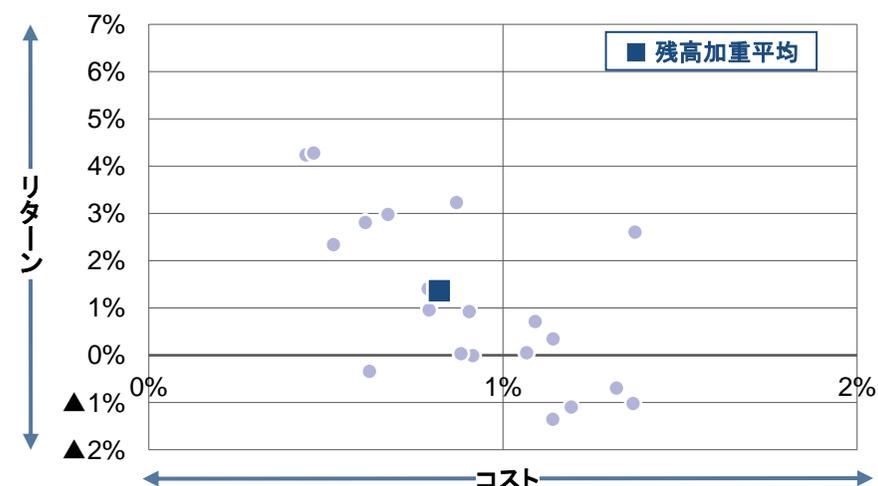
共通KPI(外貨建保険)

■ 外貨建一時払保険の残高上位20銘柄のコスト対するリターン、運用評価別顧客比率をお示しております。

なお、保険は投資信託とは異なり保障機能を有するものの、上記の指標には同機能が反映されていないため、上記の指標のみをもって投資信託と単純に比較することは必ずしも適切ではないことに留意が必要です。また、外貨建保険の銘柄別コスト・リターンについては、投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンと、定義とするコストの概念が異なることから、投資信託とコスト同士で比較することは適切でないことにも留意が必要

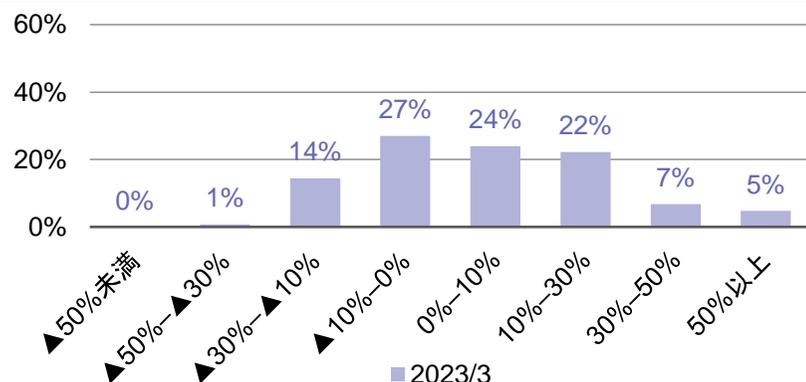
【共通KPI】外貨建一時払保険の預り残高上位20銘柄⁴¹のコスト・リターン⁴²(2023年3月)

銀行



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.79%	0.96%
2	未来につなげる終身保険	1.14%	0.35%
3	新・フォーライフカレンシー	0.61%	2.81%
4	ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.44%	4.24%
5	ディア マイ ファミリー	0.68%	2.98%
6	フォーライフカレンシーNeo	0.52%	2.34%
7	豪ドルターゲットプラス	0.91%	▲0.01%
8	生涯プレミアムワールド4	0.90%	0.92%
9	豪ドルターゲットプラス2	1.14%	▲1.35%
10	生涯プレミアムワールド3	0.88%	0.04%
11	プライムターゲット(外貨)	1.09%	0.72%
12	My年金Best外貨	0.47%	4.28%
13	ディア マイ ファミリー II	1.19%	▲1.09%
14	未来を楽しむ終身保険	1.32%	▲0.69%
15	米ドルターゲットプラス2	1.07%	0.05%
16	豪ドルターゲットプラス3	1.37%	▲1.02%
17	米ドルターゲットプラス	0.87%	3.24%
18	ロングドリームGOLD	0.79%	1.41%
19	外貨建・エブリバディプラス	1.37%	2.61%
20	プライムターゲット2(外貨)	0.62%	▲0.34%
	残高加重平均(■)	0.82%	1.36%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴³



(注)41. 2023年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預り残高(最大)上位20銘柄

42. コスト: (「新契約手数料率」+「継続手数料率」×支払回数(基準日時点での実支払回数)を経過月数を用いて年率換算

※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用

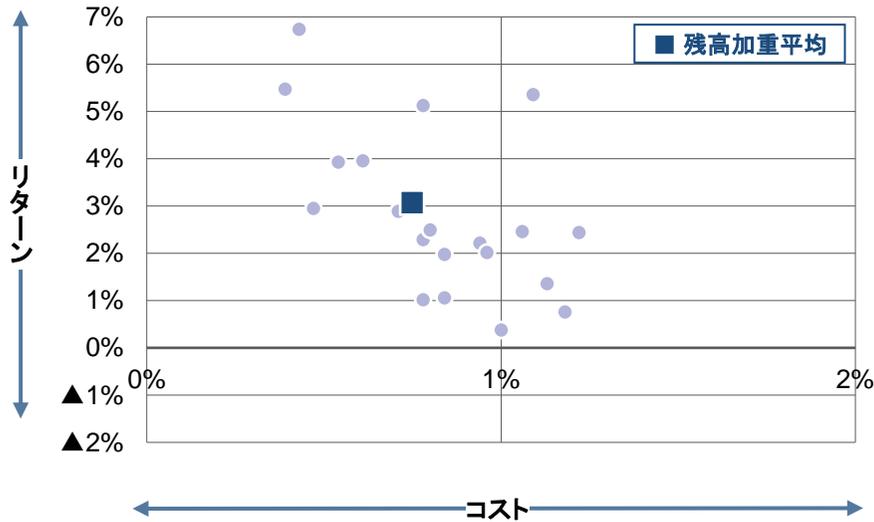
リターン: 基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の増加率を年率換算

43. 2023年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI(外貨建保険)

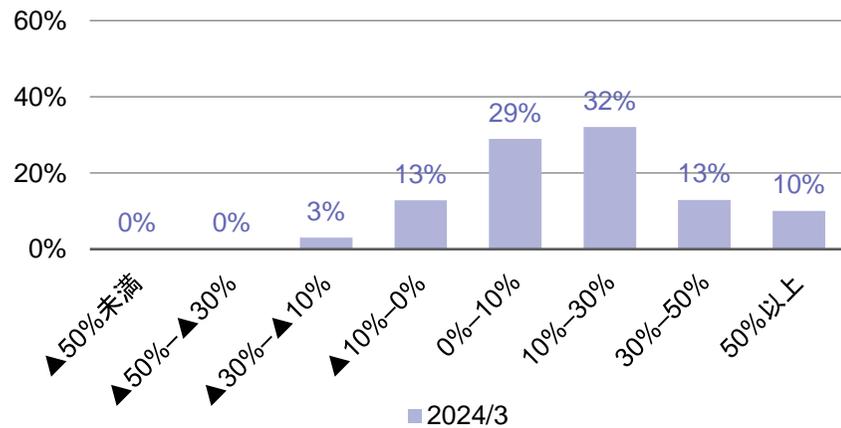
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁴のコスト・リターン⁴²(2024年3月)

銀行



銘柄名	コスト	リターン
1 新・フォーライフカレンシーNext	0.71%	2.88%
2 未来につなげる終身保険	1.06%	2.45%
3 ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.39%	5.47%
4 新・フォーライフカレンシー	0.54%	3.92%
5 ディア マイ ファミリー	0.61%	3.95%
6 生涯プレミアムワールド4	0.84%	1.97%
7 フォーライフカレンシーNeo	0.47%	2.94%
8 My年金Best外貨	0.43%	6.73%
9 生涯プレミアムワールド3	0.78%	1.01%
10 豪ドルターゲットプラス2	1.00%	0.37%
11 ディア マイ ファミリー II	1.13%	1.35%
12 豪ドルターゲットプラス	0.84%	1.05%
13 外貨建・エブリバディプラス	1.09%	5.35%
14 贈るよろこび	0.78%	2.28%
15 未来を楽しむ終身保険	1.22%	2.43%
16 豪ドルターゲットプラス3	1.18%	0.75%
17 米ドルターゲットプラス2	0.94%	2.21%
18 ロングドリームGOLD	0.80%	2.49%
19 プライムターゲット(外貨)	0.96%	2.01%
20 米ドルターゲットプラス	0.78%	5.12%
残高加重平均(■)	0.75%	3.06%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁵



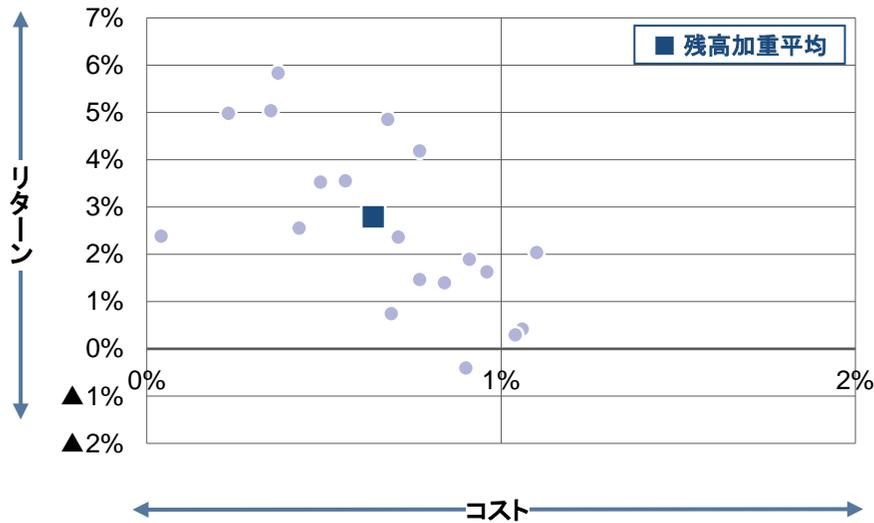
(注) 44. 2024年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高(最大)上位20銘柄

45. 2024年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI(外貨建保険)

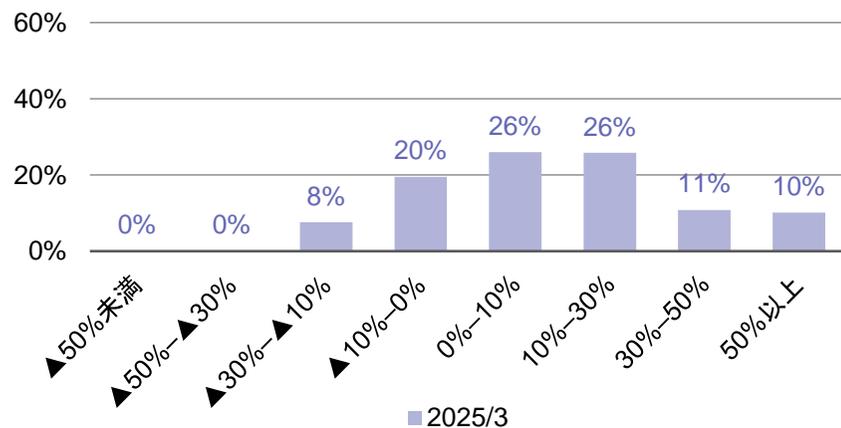
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁶のコスト・リターン⁴²(2025年3月)

銀行



銘柄名	コスト	リターン
1 新・フォーライフカレンシーNext	0.63%	2.69%
2 未来につなげる終身保険	0.96%	1.62%
3 ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.35%	5.03%
4 新・フォーライフカレンシー	0.49%	3.52%
5 ディア マイファミリー	0.56%	3.55%
6 生涯プレミアムワールド4	0.77%	1.46%
7 My年金Best外貨	0.37%	5.83%
8 フォーライフカレンシーNeo	0.43%	2.55%
9 ディア マイファミリー II	1.06%	0.41%
10 贈るよろこび	0.04%	2.38%
11 外貨建・エブリバディプラス	0.68%	4.85%
12 生涯プレミアムワールド3	0.69%	0.74%
13 豪ドルターゲットプラス2	0.90%	▲0.41%
14 未来を楽しむ終身保険	1.10%	2.03%
15 プレミアプレゼント	0.91%	1.89%
16 生涯プレミアムワールド5	0.77%	4.18%
17 ロングドリームGOLD	0.71%	2.36%
18 豪ドルターゲットプラス3	1.04%	0.29%
19 米ドルターゲットプラス2	0.84%	1.39%
20 生涯プレミアム	0.23%	4.98%
残高加重平均(■)	0.64%	2.78%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁷



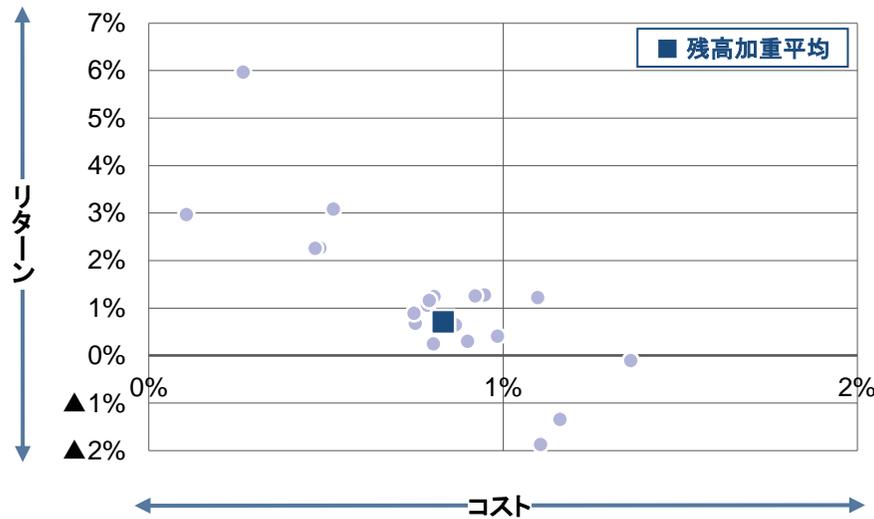
(注)46. 2025年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高(最大)上位20銘柄

47. 2025年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI(外貨建保険)

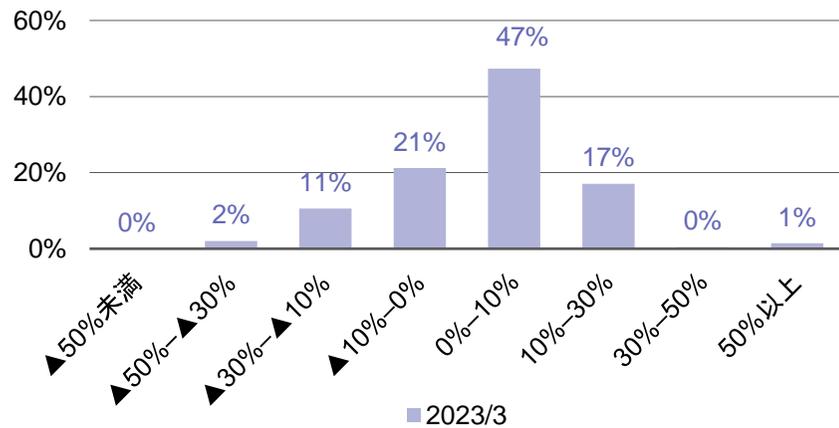
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴¹のコスト・リターン⁴²(2023年3月)

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.80%	0.25%
2	ロングドリームGOLD	0.79%	1.06%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.87%	0.64%
4	プレミアジャンプ	0.90%	0.30%
5	フォーライフセレクト	0.75%	0.68%
6	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.98%	0.41%
7	プレミアカレンシー・プラス2	0.95%	1.28%
8	外貨建エブリバディプラス	0.80%	1.24%
9	ディアマイファミリーⅡ	1.16%	▲1.34%
10	プレミアプレゼント	0.92%	1.25%
11	プレミアカレンシー・プラス	0.79%	1.16%
12	ラップドリーム	0.75%	0.89%
13	ディアマイファミリー	0.52%	3.08%
14	生涯プレミアム・ワールド2	0.48%	2.26%
15	生涯プレミアム	0.27%	5.97%
16	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.36%	▲0.10%
17	プレミアベスト	1.11%	▲1.87%
18	わくわくターゲット	0.47%	2.26%
19	アトランティック	0.11%	2.97%
20	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.10%	1.22%
	残高加重平均(■)	0.83%	0.70%

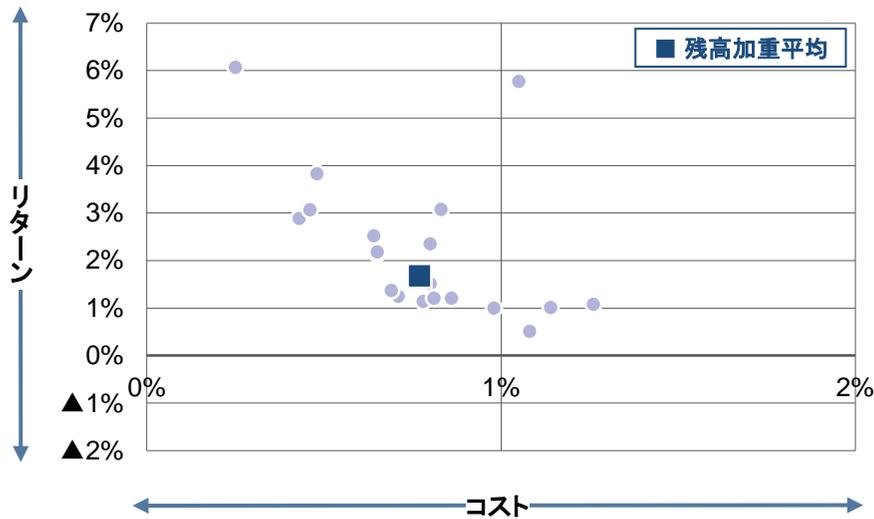
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴³



共通KPI(外貨建保険)

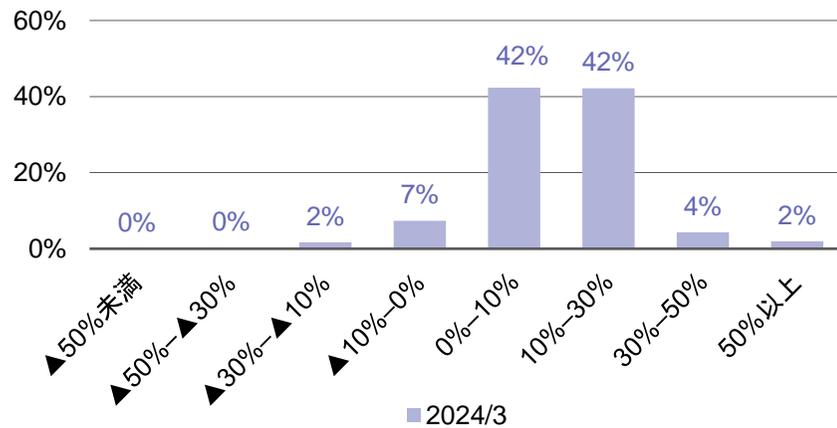
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁴のコスト・リターン⁴²(2024年3月)

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.71%	1.25%
2	ロングドリームGOLD	0.78%	1.14%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.80%	1.51%
4	フォーライフセレクト	0.65%	2.14%
5	プレミアカレンシー・プラス2	0.80%	2.35%
6	外貨建エブリバディプラス	0.65%	2.18%
7	プレミアプレゼント	0.83%	3.08%
8	プレミアジャンプ	0.81%	1.21%
9	ディアマイファミリーⅡ	1.08%	0.51%
10	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.86%	1.21%
11	プレミアカレンシー・プラス	0.69%	1.37%
12	ディアマイファミリー	0.48%	3.83%
13	ラップドリーム	1.26%	1.08%
14	やさしさ、つなが	0.64%	2.52%
15	生涯プレミアム・ワールド2	0.43%	2.89%
16	ロングドリームGOLD2	1.05%	5.77%
17	生涯プレミアム	0.25%	6.07%
18	プレミアベスト	0.98%	1.00%
19	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.14%	1.01%
20	わくわくターゲット	0.46%	3.07%
	残高加重平均(■)	0.77%	1.67%

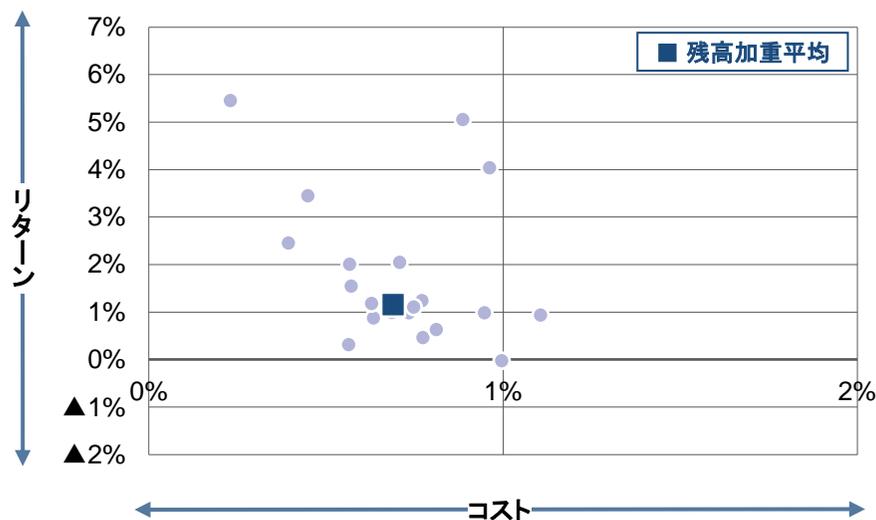
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁵



共通KPI(外貨建保険)

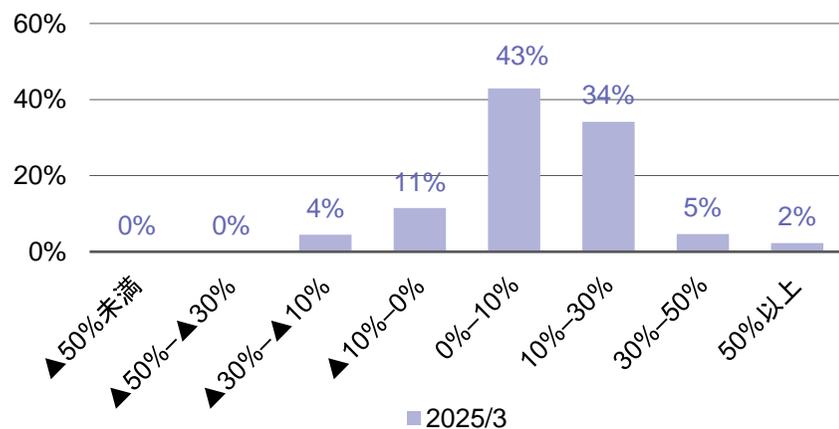
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄⁴⁶のコスト・リターン⁴²(2025年3月)

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.63%	0.88%
2	ロングドリームGOLD	0.69%	0.99%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.73%	0.99%
4	プレミアプレゼント	0.77%	0.46%
5	プレミアカレンシー・プラス2	0.71%	2.05%
6	外貨建・エブリパディプラス	0.57%	2.01%
7	ディアマイファミリーⅡ	1.00%	▲0.02%
8	フォーライフセレクト	0.57%	1.55%
9	やさしさ、つなが	0.56%	0.31%
10	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.77%	1.24%
11	ディアマイファミリー	0.45%	3.45%
12	プレミアカレンシー・プラス	0.63%	1.18%
13	ラップドリーム	1.11%	0.94%
14	生涯プレミアム・ワールド2	0.39%	2.45%
15	ロングドリームGOLD2	0.89%	5.05%
16	生涯プレミアム	0.23%	5.45%
17	プレミアベスト	0.81%	0.63%
18	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	0.95%	0.99%
19	プレミアジャンプ	0.75%	1.11%
20	ロングドリームGOLD3	0.96%	4.04%
	残高加重平均(■)	0.69%	1.15%

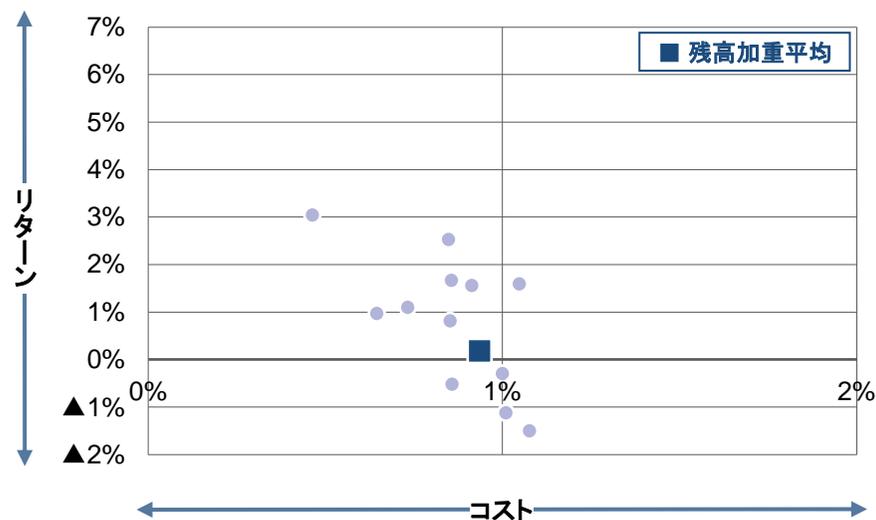
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁷



共通KPI(外貨建保険)

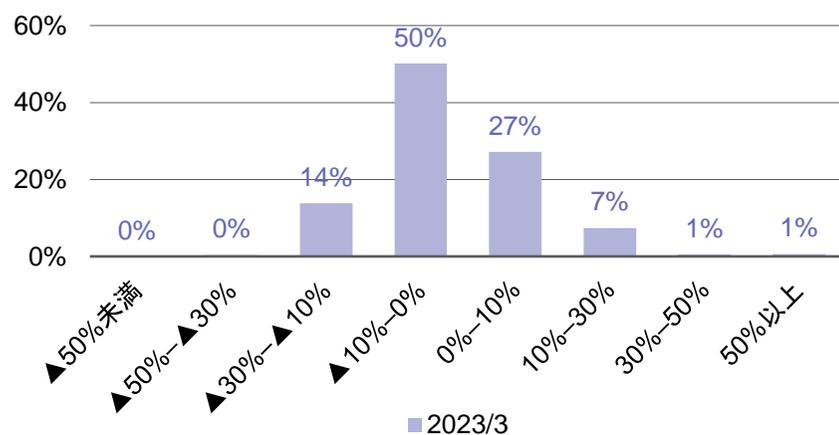
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位12銘柄⁴¹のコスト・リターン⁴²(2023年3月)

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	1.00%	▲0.29%
2	プレシャスギフト	0.65%	0.97%
3	エムソリューション年金型	0.85%	2.53%
4	やさしさ、つなが	0.86%	▲0.52%
5	しあわせ、ずっと	0.91%	1.56%
6	ロングドリームGOLD	0.73%	1.10%
7	プレミアプレゼント	0.86%	1.67%
8	プライムターゲット2(外貨)	1.01%	▲1.12%
9	プライムターゲット2・年金(外貨)	1.05%	1.59%
10	プレミアベスト	1.08%	▲1.50%
11	プレミアカレンシー・プラス2	0.85%	0.82%
12	プレミアカレンシー・プラス	0.46%	3.04%
	残高加重平均(■)	0.94%	0.17%

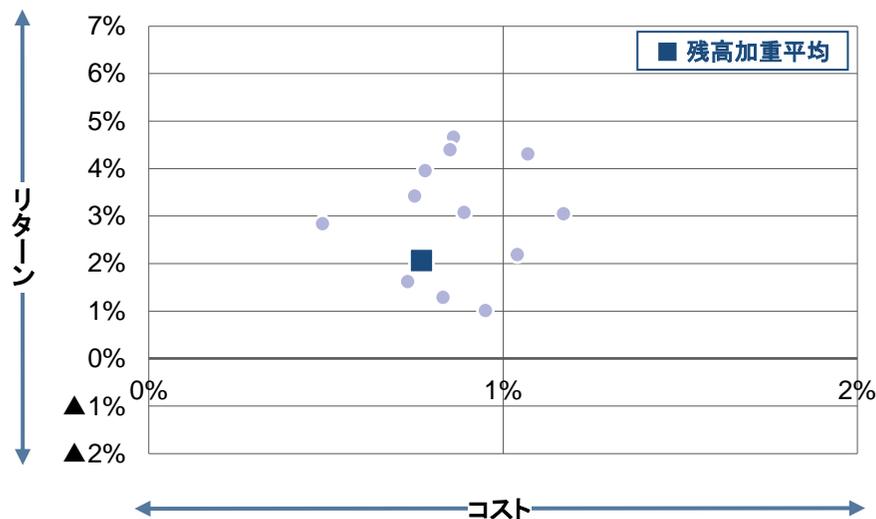
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴³



共通KPI(外貨建保険)

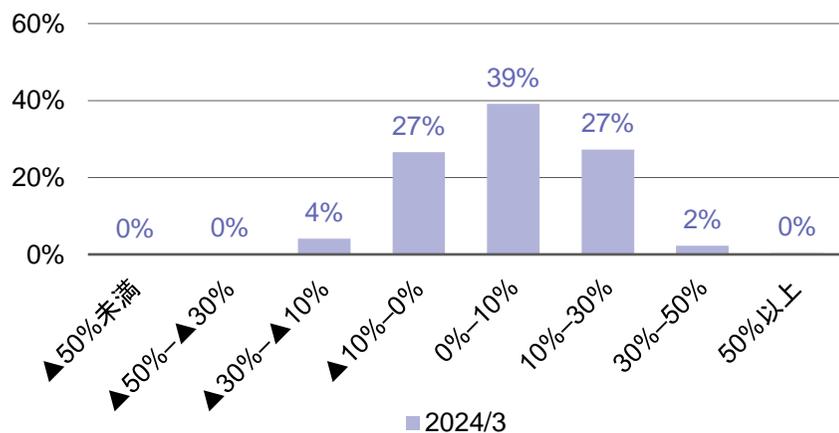
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位12銘柄⁴⁴のコスト・リターン⁴²(2024年3月)

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	0.83%	1.29%
2	プレシャスギフト	0.49%	2.84%
3	プレミアプレゼント	0.86%	4.66%
4	エムソリューション年金型	0.75%	3.42%
5	やさしさ、つなぐ	0.73%	1.62%
6	しあわせ、ずっと	0.85%	4.40%
7	ロングドリームGOLD	0.78%	3.96%
8	ビーウィズユープラス	1.17%	3.05%
9	プライムターゲット2(外貨)	0.95%	1.01%
10	プレミアベスト	1.04%	2.19%
11	プライムターゲット2・年金(外貨)	1.07%	4.31%
12	プレミアカレンシー・プラス2	0.89%	3.08%
	残高加重平均(■)	0.77%	2.06%

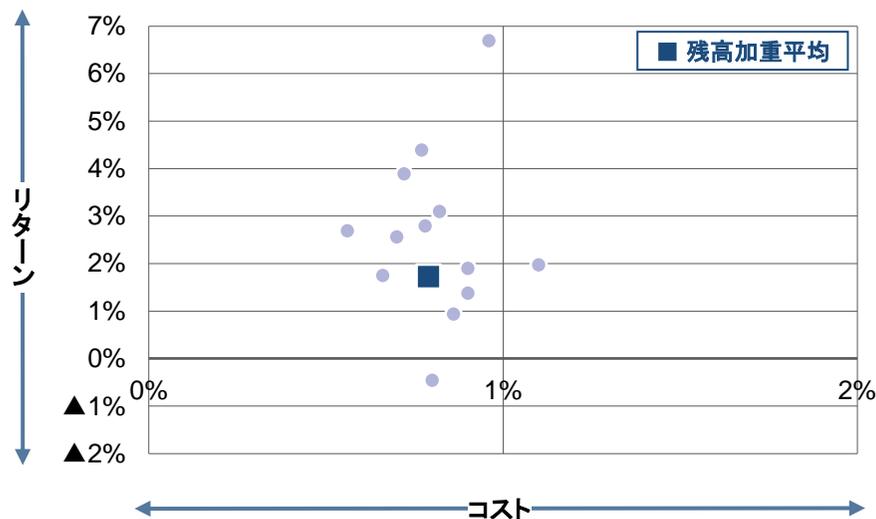
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁵



共通KPI(外貨建保険)

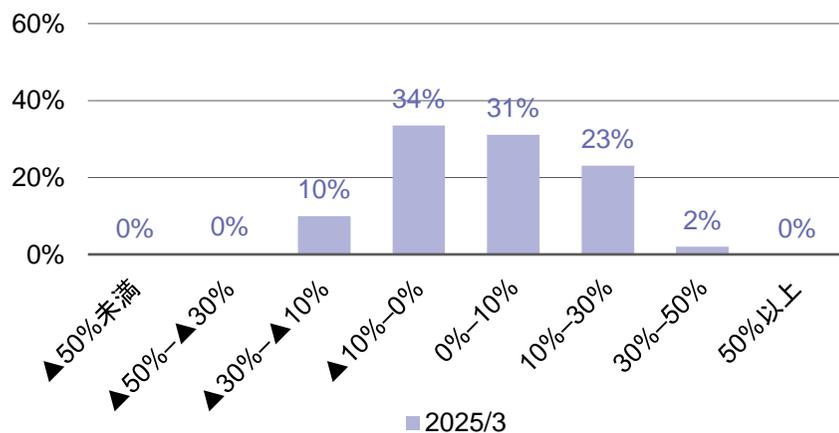
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位12銘柄⁴⁶のコスト・リターン⁴²(2025年3月)

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	0.86%	0.94%
2	プレシャスギフト	0.56%	2.69%
3	プレミアプレゼント	0.82%	3.10%
4	やさしさ、つなぐ	0.66%	1.75%
5	エムソリューション年金型	0.90%	1.90%
6	しあわせ、ずっと	0.77%	4.39%
7	ビー ウィズ ユー プラス	1.10%	1.97%
8	ロングドリームGOLD	0.72%	3.89%
9	エムステップ	0.96%	6.69%
10	プレミアベスト	0.90%	1.38%
11	しあわせ、ずっと2	0.97%	7.24%
12	プライムターゲット2(外貨)	0.80%	▲0.46%
13	プライムターゲット2・年金(外貨)	0.78%	2.79%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.70%	2.56%
	残高加重平均(■)	0.79%	1.72%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率⁴⁷



※ 当資料におけるMUAMの「ファンドアワード受賞本数」

- 「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R&I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。
選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間 3 年、5 年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドに LSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。
- Morningstar Awards 2024 ©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.
ここに含まれる情報は、(1) Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複製または配布は禁止されており、(3) 正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstar およびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

※ 当資料におけるMUAMの「Fundmark レーティング4以上のファンド本数」

- NRIIは、国内で販売されている追加型投資信託※の運用実績を用いて、商品ごとにパフォーマンスの比較・評価を行っています。運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類(Fundmark分類:約300分類)を行い、同一分類内において、投資信託のパフォーマンス(リスク調整後リターン)を相対的に評価し、5段階の評価(Fundmarkレーティング)を発表しています。
- 追加型投資信託の内、評価対象となるものは、アクティブファンド、トラックレコードが3年以上のファンド、過去3年の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月の運用残高が10億円以上のものに限る(ひとたび評価対象となった場合には、評価期間中の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が8億円以上であれば対象を継続)。また、上記の条件を満たす 投資信託が10本以上存在するカテゴリ(小分類を為替分類で細分化した分類)に属するものに限る。
- Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

※ 当資料におけるMUAMの「運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価」

- 追加型株式投信(除くETF)残高上位9社のファンドを保有する受益者(2,511名)を対象にインターネット調査を実施(株式会社マクロミル社に調査を委託)
- 全国20-79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査、サンプルの重複はなし
- 保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する以下4つのイメージについて選択(「その通りである」「まあその通りである」「あまりその通りではない」「その通りではない」のうち、「その通りである」または「まあその通りである」と答えた比率を表示)
[信頼感]きちんと情報開示されており信頼できる、[納得感]保有している商品の情報がわかりやすく提供されるので納得感がある、[安心感]必要な情報が提供されており安心できる、[迅速性]タイムリー、丁寧な情報提供がされる